

**第5次精華町地域福祉活動計画・第4次精華町地域福祉計画  
策定に關わるアンケート調査  
調査結果報告書**

**令和4年9月**

**精華町社会福祉協議会**

# 目 次

I 調査概要 .....	1
1. 調査の目的 .....	1
2. 調査項目 .....	1
3. 調査の概要 .....	1
4. 報告書を見る際の注意事項 .....	2
II 調査結果 .....	3
1. 回答者の属性 .....	3
2. 近所づきあいについて .....	5
3. 困ったときの相談や情報の収集について .....	14
4. 地域福祉に係る活動への参加について .....	22
5. 緊急災害時について .....	24
6. 福祉課題や見守り・生活支援について .....	30
7. 地域福祉の取り組みについて .....	37
III 資料編（調査票） .....	40

# I 調査概要

## 1. 調査の目的

「第5次精華町地域福祉活動計画・第4次精華町地域福祉計画」の策定にあたり、住民の地域福祉に関する考え方や意見を把握し、町の施策や計画の基礎資料とするために実施した。

## 2. 調査項目

- 回答者の属性（性別、年齢、居住年数、居住地区など）
- 近所づきあいについて
- 困ったときの相談や情報の収集について
- 地域福祉に係る活動への参加について
- 緊急災害について
- 福祉課題や見守り・生活支援について
- 地域福祉の取り組みについて

## 3. 調査の概要

- ・調査対象：精華町にお住まいの18歳以上の男女 2,000人（無作為抽出）
- ・調査方法：郵送配布—郵送回収
- ・調査期間：令和4年8月18日（木）～令和4年9月9日（金）
- ・回収数：737票
- ・回収率：36.9%
- ・地域別回収率：

地区名	配布数 (A)	回収数 (B)	回収率 (B/A)	地区名	配布数 (A)	回収数 (B)	回収率 (B/A)
菱田	80	32	40.0	南	113	31	27.4
滝ノ鼻	51	12	23.5	中	24	9	37.5
舟	61	36	59.0	東	27	10	37.0
里	14	7	50.0	西北	13	6	46.2
僧坊	93	35	37.6	山田	30	15	50.0
谷	15	5	33.3	乾谷	19	9	47.4
旭	3	—	0.0	柘榴	14	7	50.0
北稻八間	40	10	25.0	東畑	32	15	46.9
南稻八妻	50	14	28.0	中久保田	24	6	25.0
植田	50	15	30.0	桜が丘	292	110	37.7
菅井	15	8	53.3	光台	408	138	33.8
北ノ堂	41	16	39.0	祝園西一丁目	78	25	32.1
馬渕	36	11	30.6	精華台	377	141	37.4
				所在不明	—	14	—
				合計	2,000	737	36.9

#### 4. 報告書を見る際の注意事項

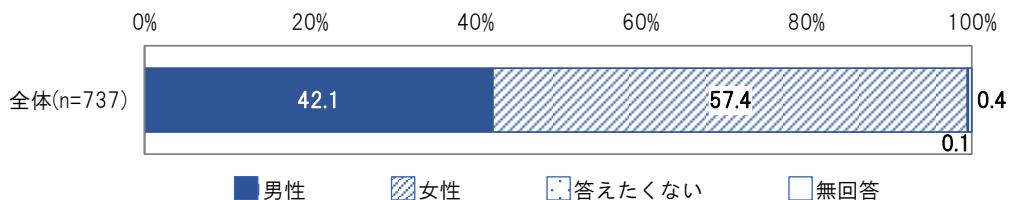
- 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してある。
- 百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が 100%にならないことがある。
- 1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。
- グラフ等の記載にあたっては、調査票の選択肢の文言を一部省略している場合がある。
- 性別・年代別等のクロス集計表については、無回答やその他を除いて、1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。なお、割合が同じ回答が複数ある場合は、3項目以上に網掛けをしている場合がある。

## II 調査結果

### 1. 回答者の属性

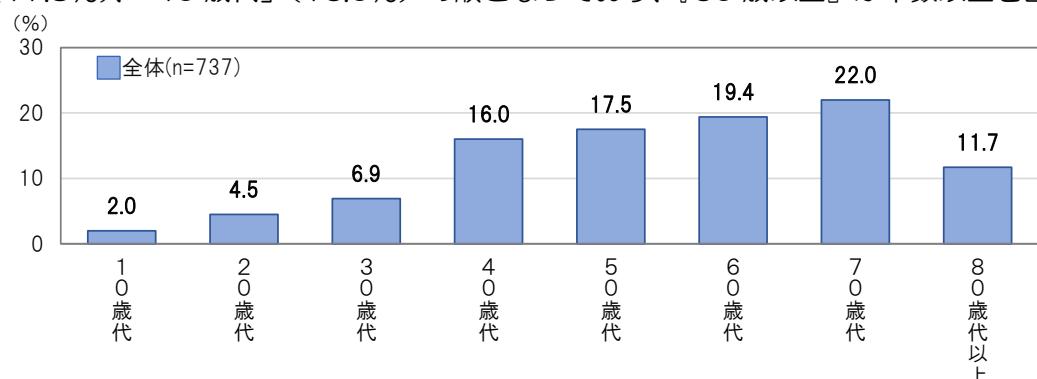
#### (1) 性別

- 回答者の性別は、「男性」が42.1%、「女性」が57.4%となっている。



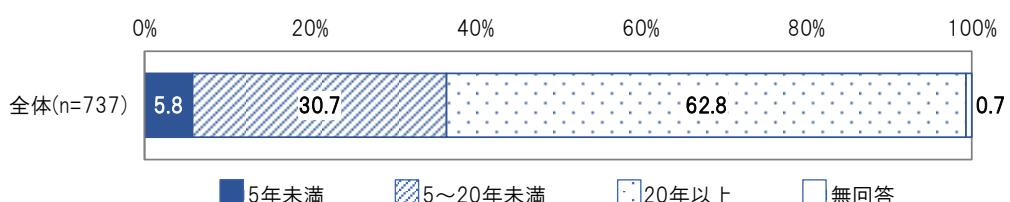
#### (2) 年齢

- 回答者の年齢は、「70歳代」が22.0%と最も多く、次いで「60歳代」(19.4%)、「50歳代」(17.5%)、「40歳代」(16.0%)の順となっており、「60歳以上」が半数以上を占めている。



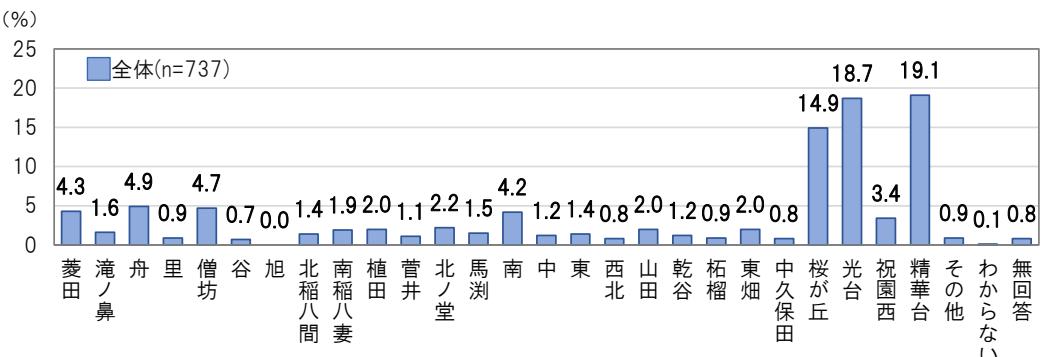
#### (3) 精華町での居住年数

- 回答者の精華町での居住年数は、「20年以上」が62.8%と最も多く、次いで「5~20年末満」(30.7%)、「5年末満」(5.8%)の順となっている。



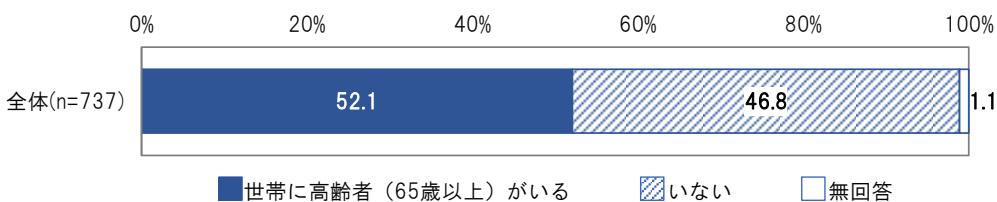
#### (4) 居住地区

- 回答者の居住地区は、「精華台」が19.1%と最も多く、次いで「光台」(18.7%)、「桜が丘」(14.9%)の順となっている。



## (5) 高齢者（65歳以上）との同居状況

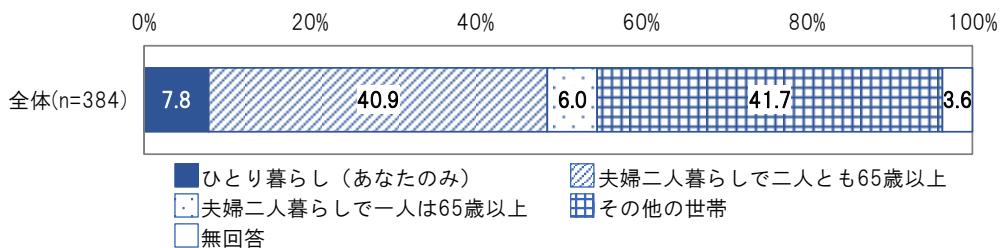
- 回答者の高齢者（65歳以上）との同居状況では、「世帯に高齢者（65歳以上）がいる」が52.1%と半数以上を占め、「いない」は46.8%となっている。



## (6) 高齢者世帯の世帯構成

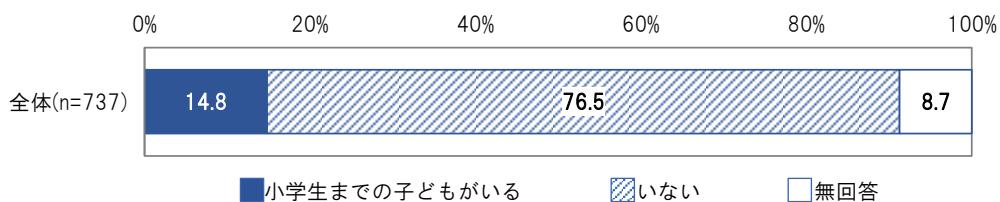
※(5)で「世帯に高齢者（65歳以上）がいる」と回答した人のみ

- 高齢者との同居世帯と回答した人の世帯構成は、「その他の世帯」が41.7%と最も多くなっているものの、次いで「夫婦二人暮らしで二人とも65歳以上」が40.9%と約4割を占め、「ひとり暮らし（あなたのもの）」（7.8%）と合わせると、半数近くが高齢者のみの世帯となっている。



## (7) 小学生までの子どもとの同居状況

- 回答者の小学生までの子どもとの同居状況では、「いない」が76.5%と7割以上を占め、「小学生までの子どもがいる」は14.8%となっている。



## (8) 小学生までの子どもがいる世帯の世帯構成

※(7)で「小学生までの子どもがいる」と回答した人のみ

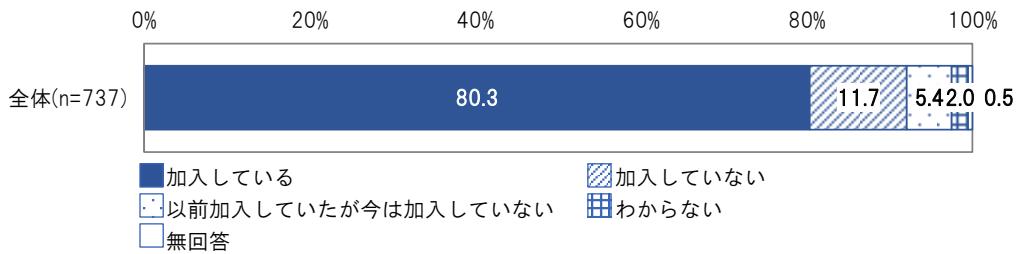
- 小学生までの子どもとの同居世帯と回答した人の世帯構成は、「両親と子どものみ」が81.7%と8割を超えており、「母子ないしは父子のみ」（4.6%）、「祖父ないしは祖母と親と子」（6.4%）はともに1割未満となっている。



## 2. 近所づきあいについて

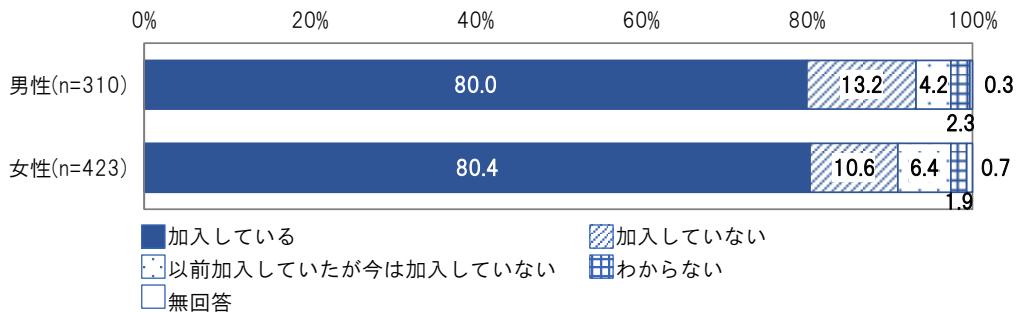
### (1) 自治会への加入状況

- 自治会への加入状況は、「加入している」が80.3%と約8割を占め、「加入していない」(11.7%)は1割程度となっている。



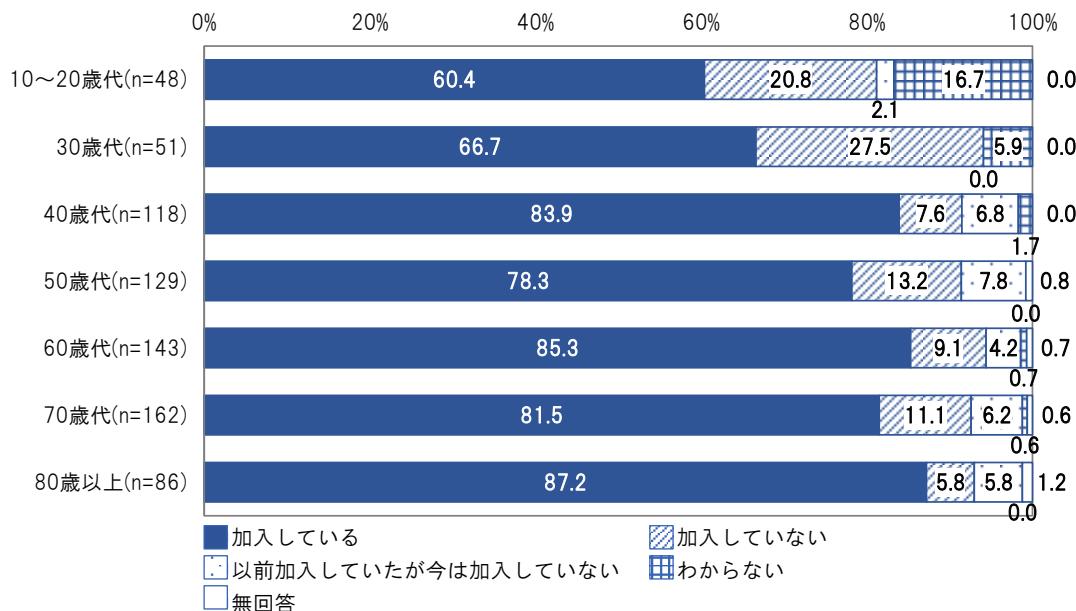
### 《性別》

- 性別には、大きな差異はみられない。



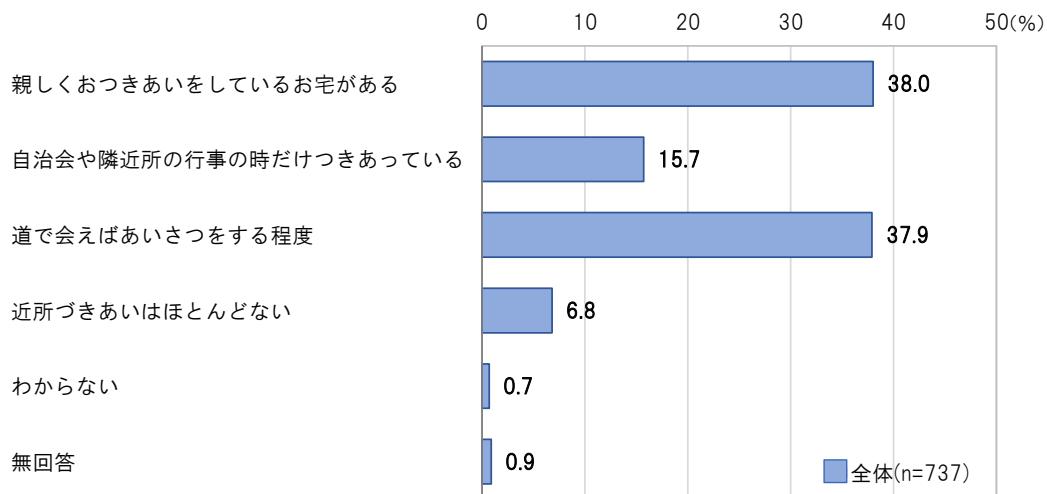
### 《年代別》

- 年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて「加入している」が高くなる傾向がみられ、80歳以上では9割近く（87.2%）となっているのに対し、10～20歳代では約6割（60.4%）の加入率となっている。
- 10～20歳代では「わからない」が1割以上を占め、その他の年代に比べて高くなっている。



## (2) 隣近所とのつきあいの程度

- 隣近所とのつきあいの程度は、「親しくおつきあいをしているお宅がある」(38.0%)と「道で会えばあいさつをする程度」(37.9%)がともに4割近くと多くなっており、「近所づきあいはほとんどない」は1割未満(6.8%)となっている。



### 《性別・年代別》

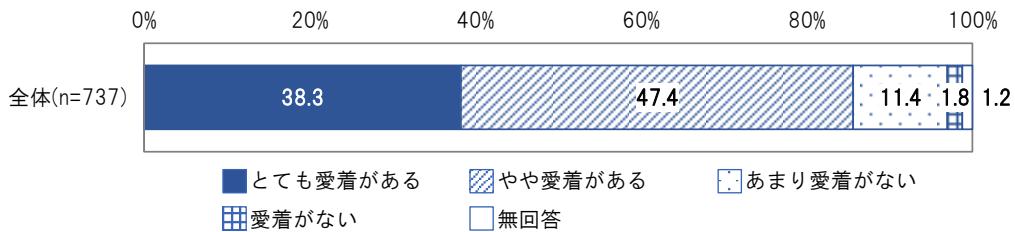
- 性別には、大きな差異はみられない。
- 年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて「親しくおつきあいをしているお宅がある」が、年代が下がるにつれて「道で会えばあいさつをする程度」が高くなる傾向がみられる。
- また、10~20歳代、30歳代では「近所づきあいはほとんどない」がともに1割を超えており、年代が下がるにつれて近所づきあいが希薄化する傾向がみられる。

		回答者数(人)	親しくおつきあいをしてるお宅がある	自治会や隣近所の行事の時だけつきあっている	道で会えばあいさつをする程度	近所づきあいはほとんどない	わからない	無回答	(%)
性別	男性	310	37.7	16.1	38.1	7.1	0.6	0.3	
	女性	423	37.6	15.6	38.1	6.6	0.7	1.4	
年代別	10~20歳代	48	16.7	10.4	52.1	16.7	4.2	-	
	30歳代	51	23.5	5.9	54.9	13.7	-	2.0	
	40歳代	118	28.8	21.2	44.9	5.1	-	-	
	50歳代	129	35.7	17.8	38.8	5.4	0.8	1.6	
	60歳代	143	44.8	15.4	34.3	4.2	0.7	0.7	
	70歳代	162	45.7	14.8	31.5	6.2	0.6	1.2	
	80歳以上	86	48.8	16.3	26.7	7.0	-	1.2	

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

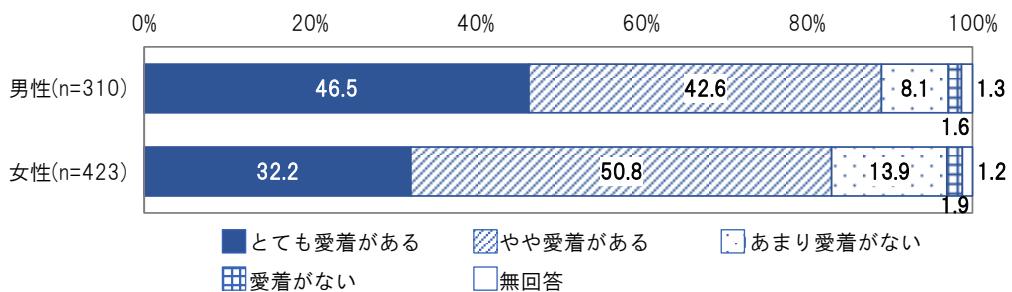
### (3) 住んでいる地域への愛着度

- 住んでいる地域への愛着度は、「やや愛着がある」が 47.4%と半数近くを占めて最も多く、「とても愛着がある」(38.3%) と合わせると、『愛着がある』人が8割以上を占めている。



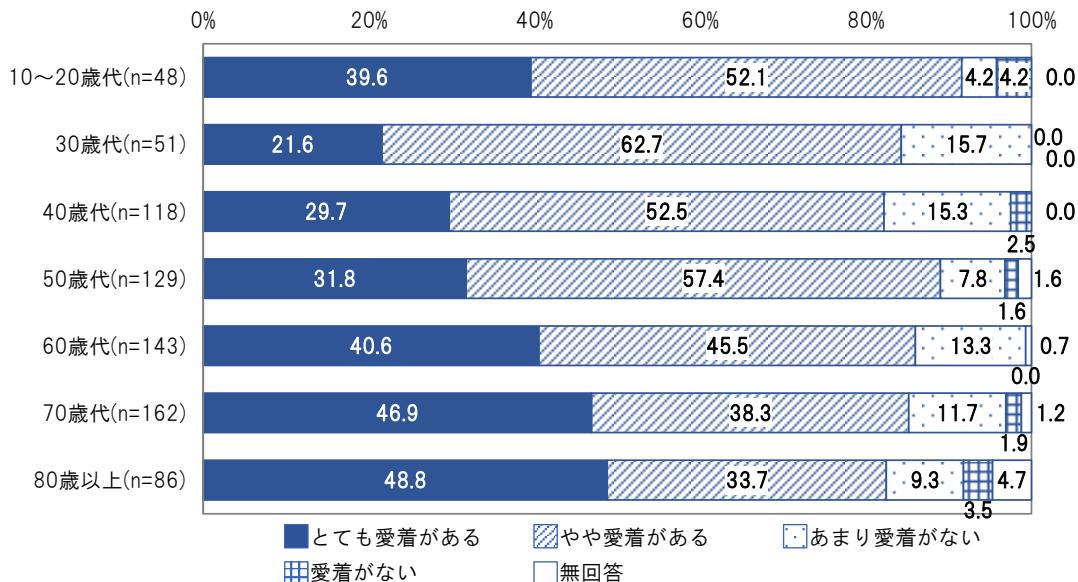
#### 《性別》

- 性別にみると、「とても愛着がある」が男性では 46.5%と、女性 (32.2%) を 14.3 ポイント上回っている。
- 『愛着がある』人の割合は、男性は 89.1%、女性は 83.0% となっている。



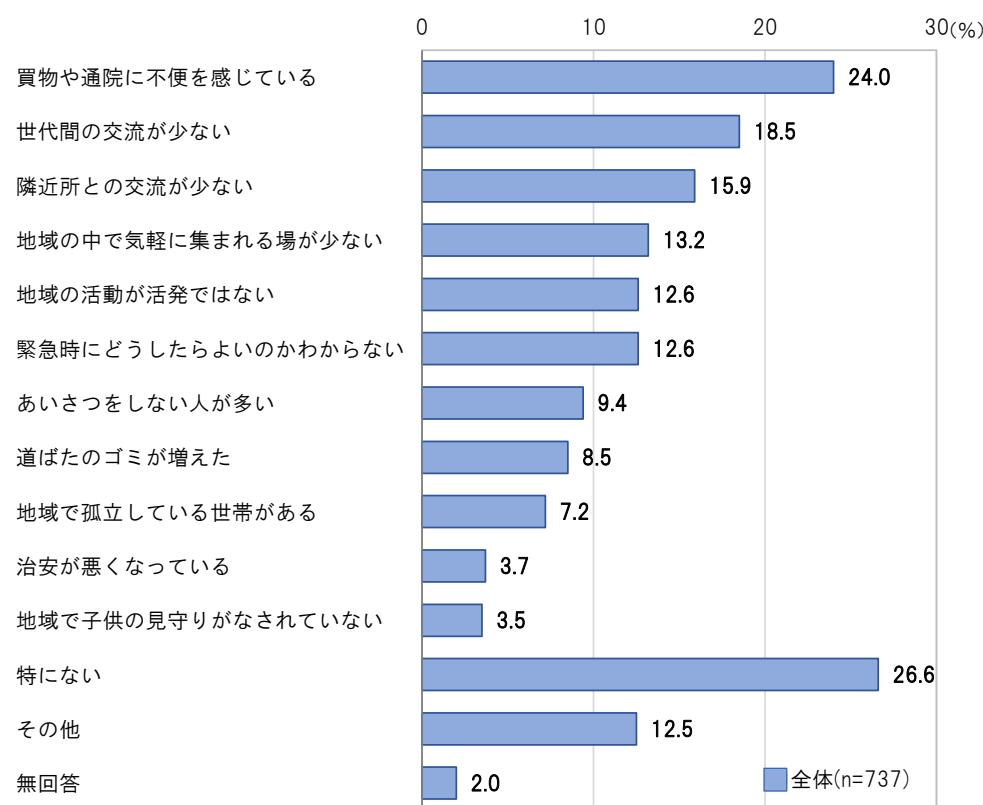
#### 《年代別》

- 年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて「とても愛着がある」が高くなる傾向がみられ、80 歳以上では半数近く (48.8%) となっており、最も低い 30 歳代 (21.6%) の2倍以上となっている。
- 『愛着がある』人の割合は、10~20 歳代で 91.7% と最も高く、40 歳代で 82.2% と最も低くなっている。



#### (4) 住んでいる地域の問題点

- ・住んでいる地域の問題点は、「特ない」が26.6%と最も高くなっている。
- ・具体的な問題点では、「買物や通院に不便を感じている」が24.0%と高く、次いで「世代間の交流が少ない」(18.5%)、「隣近所との交流が少ない」(15.9%)の順となっている。



## 《性別・年代別》

- 性別にみると、男性では「世代間の交流が少ない」や「地域の活動が活発ではない」などが女性に比べて高く、女性では「買物や通院に不便を感じている」や「緊急時にどうしたらよいのかわからない」などが男性に比べて高くなっている。
- 年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて「買物や通院に不便を感じている」や「世代間の交流が少ない」などの回答が高くなる傾向がみられる。また、10~20歳代では「地域の中で気軽に集まれる場が少ない」、80歳以上では「緊急時にどうしたらよいのかわからない」がそれぞれ他の年代に比べて高くなっている。

		回答者数 (人)	買物や通院に不便を感じている	世代間の交流が少ない	隣近所との交流が少ない	地域の中で気軽に集まれる場が少ない	地域の活動が活発ではない	緊急時にどうしたらよいのかわからない	いわいさつをしない人が多い
性別									(%)
男性		310	20.6	23.2	18.4	16.8	16.1	8.7	13.5
女性		423	26.2	14.9	13.9	10.6	9.9	15.4	6.4
年代別	10~20歳代	48	12.5	8.3	8.3	22.9	10.4	4.2	4.2
	30歳代	51	17.6	9.8	7.8	11.8	11.8	15.7	2.0
	40歳代	118	22.0	21.2	18.6	16.1	12.7	15.3	11.9
	50歳代	129	20.2	15.5	13.2	8.5	7.8	10.1	6.2
	60歳代	143	28.0	21.0	14.0	14.0	16.1	11.2	11.9
	70歳代	162	22.8	20.4	21.6	11.1	15.4	11.1	9.9
	80歳以上	86	38.4	22.1	17.4	14.0	10.5	20.9	12.8

		回答者数 (人)	道ばたのゴミが増えた	がある	地域で孤立している世帯	治安が悪くなっている	されていない	特にない	その他	無回答
性別										
男性		310	7.1	10.6	2.9	3.2	27.4	14.5	1.6	
女性		423	9.7	4.7	4.3	3.8	26.0	11.1	2.4	
年代別	10~20歳代	48	14.6	-	8.3	4.2	31.3	16.7	-	
	30歳代	51	13.7	2.0	5.9	2.0	33.3	15.7	-	
	40歳代	118	11.0	4.2	5.1	8.5	23.7	13.6	1.7	
	50歳代	129	8.5	4.7	2.3	3.1	34.1	14.0	1.6	
	60歳代	143	8.4	11.2	2.8	1.4	21.7	12.6	1.4	
	70歳代	162	3.7	8.6	3.1	2.5	25.9	11.1	4.3	
	80歳以上	86	8.1	12.8	2.3	3.5	22.1	7.0	2.3	

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

## 《居住地区別》

- ・居住地区別にみると、南地域では「特にない」が約3割を占めて最も高くなっているのに対し、北地域では「買物や通院に不便を感じている」が34.7%と3割以上を占めている。
- ・その他、北地域では「地域の中で気軽に集まれる場が少ない」や「緊急時にどうしたらよいのかわからない」などが南地域に比べて高くなっている。

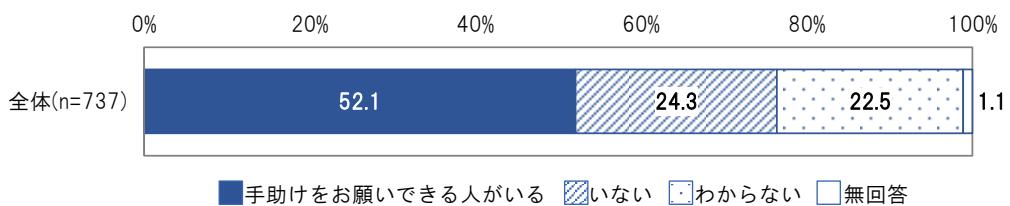
		回答者数 (人)	買物や通院に不便を感じている	世代間の交流が少ない	隣近所との交流が少ない	地域の中で気軽に集まれる場が少ない	地域の活動が活発ではない	緊急時にどうしたらよいのかわからない	いざないさつをしない人が多い
居住地	南地域	449	17.8	19.4	17.1	11.4	11.4	9.4	9.6
	北地域	274	34.7	17.9	14.6	16.4	15.3	18.6	9.5

		回答者数 (人)	道ばたのゴミが増えた	地域で孤立している世帯がある	治安が悪くなっている	地域で子供の見守りがない	特にない	その他	無回答
居住地	南地域	449	7.6	5.8	4.5	3.1	30.3	14.3	1.3
	北地域	274	9.5	9.9	2.6	4.4	19.3	10.2	2.6

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

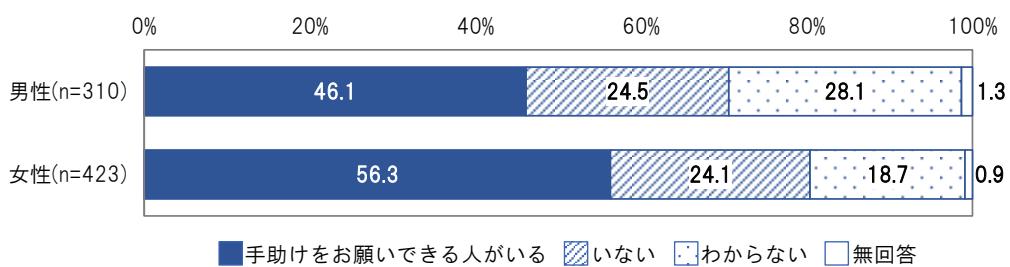
## (5) 困ったときに手助けをお願いできる近所の人の有無

- 困ったときに手助けをお願いできる近所の人の有無は、「手助けをお願いできる人がいる」が52.1%と半数以上を占めて最も多く、「いない」は3割未満（24.3%）となっている。



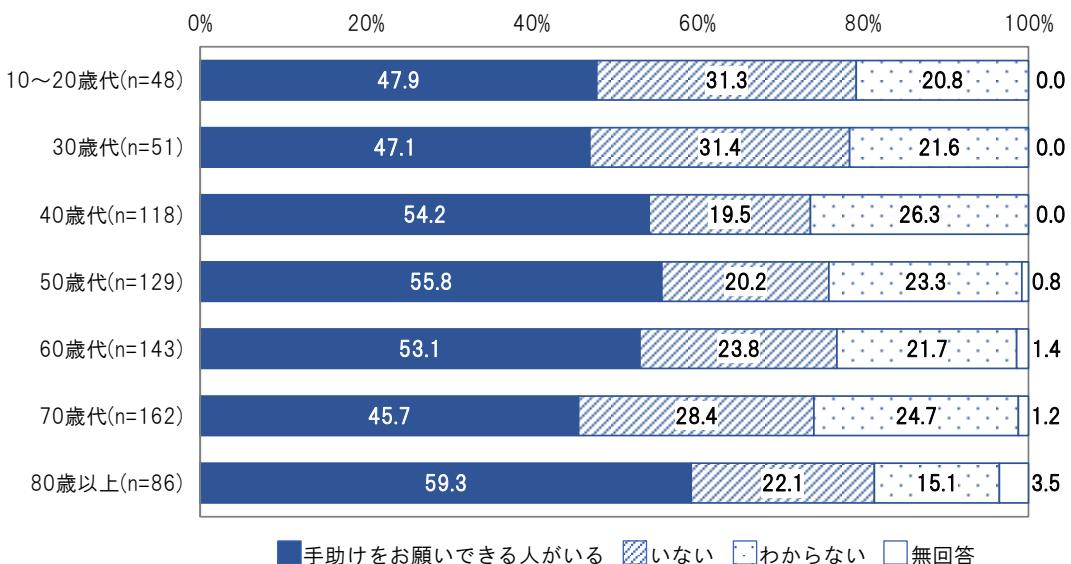
### 《性別》

- 性別にみると、「手助けをお願いできる人がいる」が男性では46.1%となっているのに対し、女性は56.3%と半数を超えて、女性が男性を10.2ポイント上回っている。



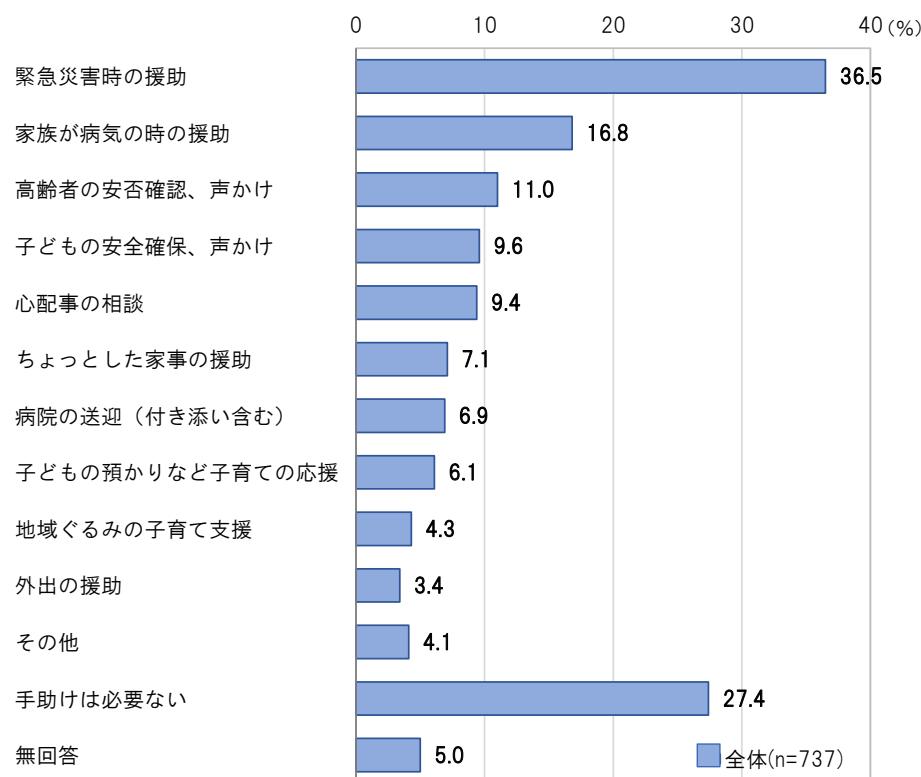
### 《年代別》

- 年代別にみると、「手助けをお願いできる人がいる」が、80歳以上で約6割（59.3%）と最も高く、70歳代で45.7%と最も低くなっている。
- 10~20歳代、30歳代では「いない」がともに3割を超えており、その他の年代に比べてやや高くなっている。



## (6) 手助けをお願いしたいこと

- 手助けをお願いしたいことは、「緊急災害時の援助」が36.5%と最も高く、次いで「家族が病気の時の援助」(16.8%)、「高齢者の安否確認、声かけ」(11.0%)の順となっている。



## 《性別・年代別》

- ・性別にみると、男性では「緊急災害時の援助」や「高齢者の安否確認、声かけ」などが女性に比べて高く、女性では「子どもの預かりなど子育ての応援」などが男性に比べて高くなっている。
- ・年代別にみると、すべての年代で「緊急災害時の援助」が最も高くなっている。また、概ね年代が上がるにつれて「高齢者の安否確認、声かけ」の回答が高くなる傾向がみられる。
- ・30~40歳代では「子どもの安全確保、声かけ」や「子どもの預かりなど子育ての応援」、「地域ぐるみの子育て支援」などの、子どもに関する項目で高くなっている。

		回答者数（人）	緊急災害時の援助	家族が病気の時の援助	け 高齢者の安否確認、声か	け 子どもの安全確保、声か	心配事の相談	ちょっとした家事の援助	む 病院の送迎（付き添い含）
性別	男性	310	40.0	16.1	13.5	11.0	8.7	8.4	6.5
	女性	423	33.8	17.0	9.0	8.7	9.9	6.1	7.3
年代別	10~20歳代	48	43.8	14.6	6.3	4.2	6.3	-	2.1
	30歳代	51	33.3	19.6	2.0	29.4	19.6	7.8	9.8
	40歳代	118	33.1	22.0	3.4	33.1	6.8	5.9	2.5
	50歳代	129	39.5	12.4	7.8	7.0	14.0	4.7	4.7
	60歳代	143	33.6	12.6	10.5	4.2	7.7	9.1	4.9
	70歳代	162	38.3	21.0	16.0	-	7.4	9.3	11.1
	80歳以上	86	36.0	15.1	25.6	-	8.1	8.1	12.8

		回答者数（人）	子どもの預かりなど子育ての応援	地域ぐるみの子育て支援	外出の援助	その他	手助けは必要ない	無回答
性別	(つづき)							
	男性	310	3.9	3.9	2.6	3.2	30.6	3.2
年代別	女性	423	7.8	4.7	4.0	4.7	25.1	6.1
	10~20歳代	48	6.3	2.1	-	4.2	41.7	-
	30歳代	51	29.4	27.5	5.9	-	13.7	2.0
	40歳代	118	18.6	8.5	2.5	0.8	22.0	1.7
	50歳代	129	2.3	3.1	2.3	5.4	29.5	3.9
	60歳代	143	1.4	2.1	2.8	5.6	30.8	6.3
	70歳代	162	-	-	2.5	4.9	31.5	7.4
	80歳以上	86	-	-	9.3	4.7	18.6	9.3

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

### 3. 困ったときの相談や情報の収集について

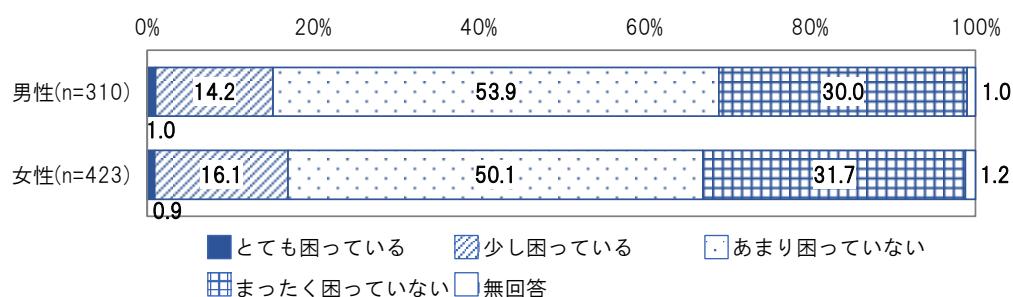
#### (1) 現在の生活状況

- 現在の生活状況は、「あまり困っていない」が 51.8%と半数以上を占めて最も多く、「まったく困っていない」(30.9%) と合わせると、『困っていない』人が8割以上を占めている。
- 一方で、「とても困っている」と「少し困っている」を合わせた『困っている』人が2割近くを占めている。



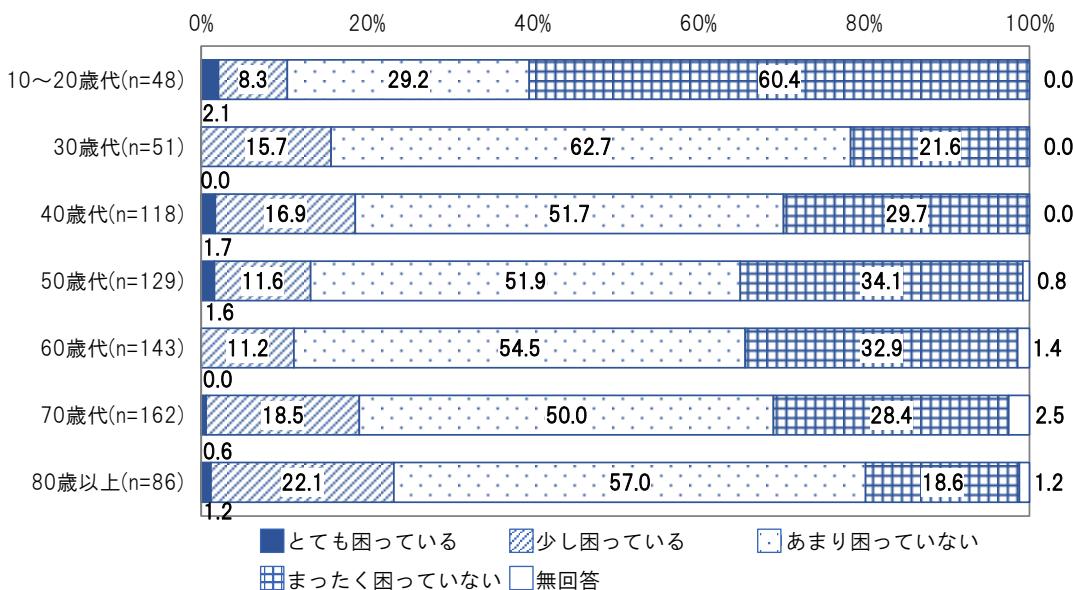
#### 《性別》

- 性別には、大きな差異はみられない。



#### 《年代別》

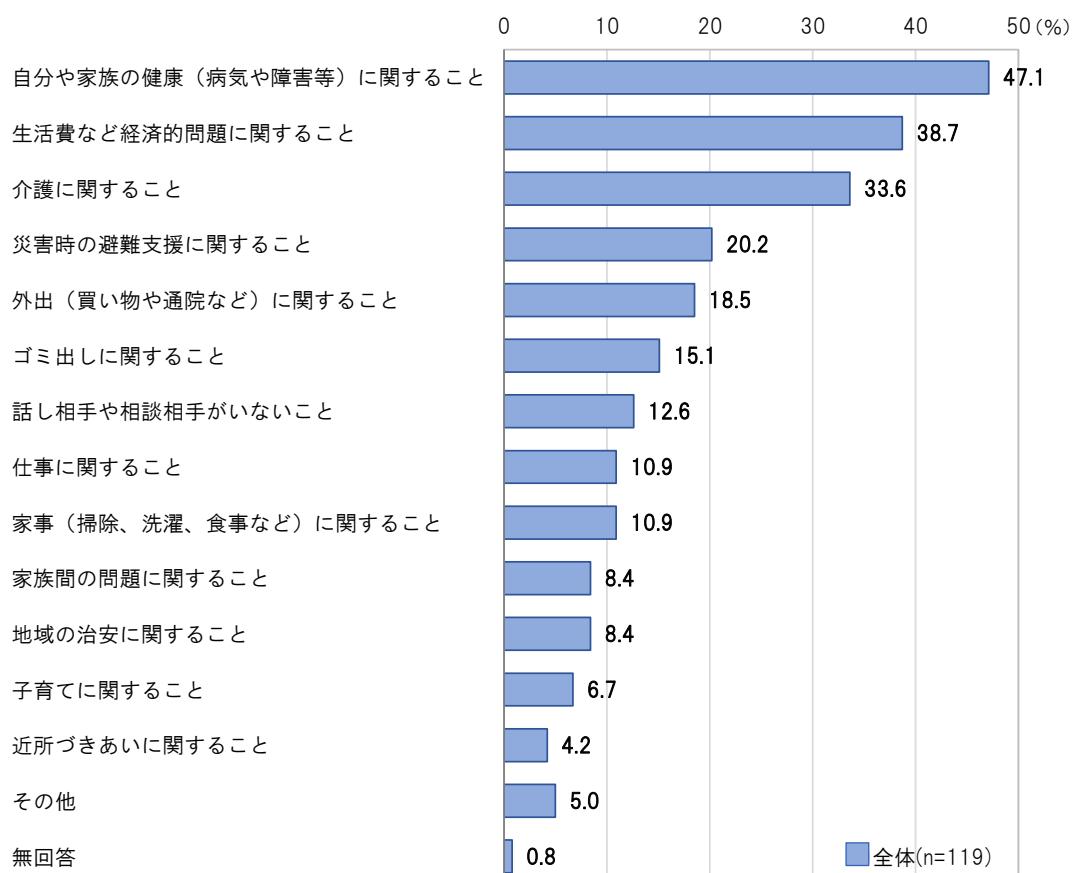
- 年代別にみると、概ね年代が下がるにつれて『困っていない』が高くなる傾向がみられる。
- 『困っている』の割合をみると、80 歳以上で 23.3%と2割以上を占めて最も高くなっている。



## (2) 困っていることの内容

※（1）で「とても困っている」または「少し困っている」と回答したのみ

- 困っていることの内容では、「自分や家族の健康（病気や障害等）に関するここと」が47.1%と半数近くを占めて最も高く、次いで「生活費など経済的問題に関するここと」（38.7%）、「介護に関するここと」（33.6%）の順となっている。



## 《居住地区別》

- ・居住地区別にみると、南地域・北地域ともに「自分や家族の健康（病気や障害など）に関するこ  
と」が最も高く、次いで「生活費など経済的問題に関すること」となっている。
- ・その他、北地域では「災害時の避難支援に関すること」や「外出（買い物や通院など）に関する  
こと」、「家事（掃除、洗濯、食事など）に関すること」などが南地域に比べて高くなっている。  
特に「外出（買い物や通院など）に関すること」では、10 ポイント近く上回っている。

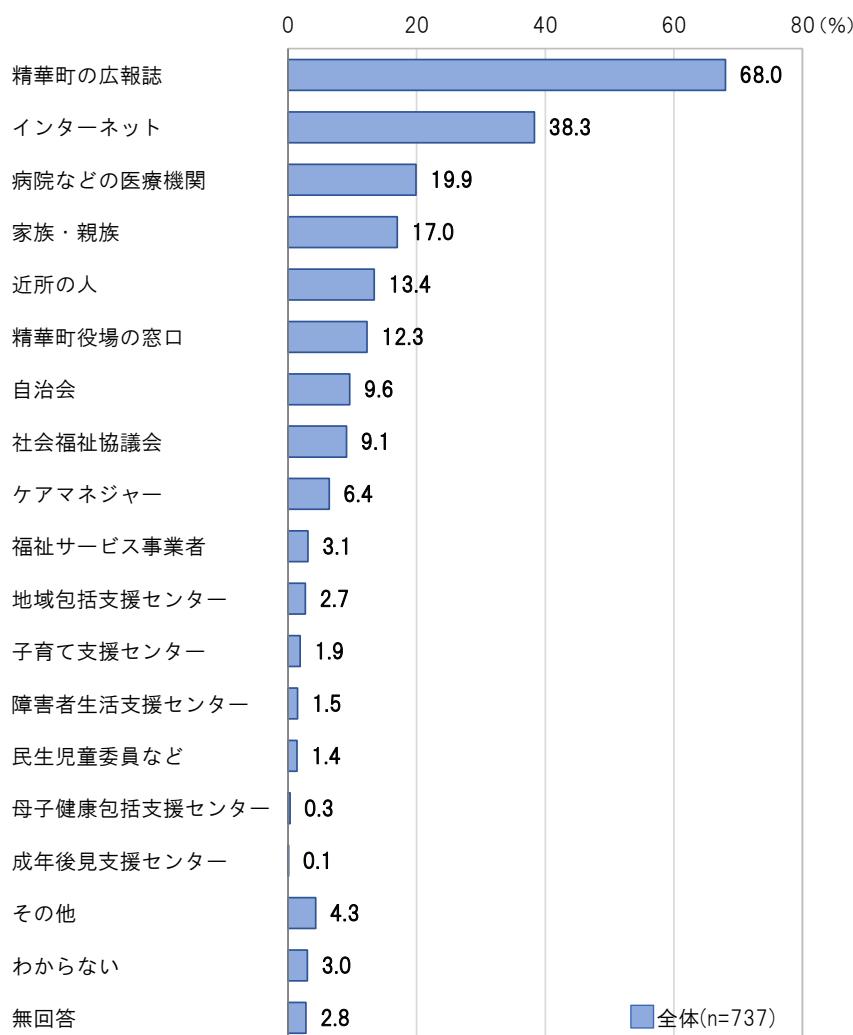
		回答者数（人）	自分や家族の健康（病気や障害など）に関すること	生活費など経済的問題に関すること	介護に関すること	災害時の避難支援に関すること	外出（買い物や通院など）に関すること	ゴミ出しに関すること	話し相手や相談相手がないこと	仕事に関すること	(%)
居住地	南地域	71	42.3	39.4	33.8	19.7	15.5	14.1	15.5	11.3	
	北地域	44	54.5	38.6	34.1	22.7	25.0	15.9	9.1	11.4	

		回答者数（人）	家事（掃除、洗濯、食事など）に関すること	家族間の問題に関すること	地域の治安に関すること	子育てに関すること	近所づきあいに関すること	その他	無回答
(つづき)									
居住地	南地域	71	8.5	9.9	8.5	8.5	2.8	4.2	-
	北地域	44	13.6	6.8	9.1	4.5	6.8	6.8	2.3

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

### (3) 健康や福祉に関する情報の入手先

- ・健康や福祉に関する情報の入手先は、「精華町の広報誌」が68.0%と7割近くを占めて最も高く、次いで「インターネット」(38.3%)、「病院などの医療機関」(19.9%)、「家族・親族」(17.0%)の順となっている。



## 《性別・年代別》

- ・性別にみると、男性では「病院などの医療機関」や「精華町役場の窓口」などが女性に比べて高く、女性では「近所の人」などが男性に比べて高くなっている。
- ・年代別にみると、概ね年代が下がるにつれて「インターネット」の回答が高くなる傾向がみられ、10~20歳代では半数以上となっている。また、70歳以上では「病院などの医療機関」や「社会福祉協議会」、「ケアマネジャー」などが、その他の年代に比べて高くなっている。

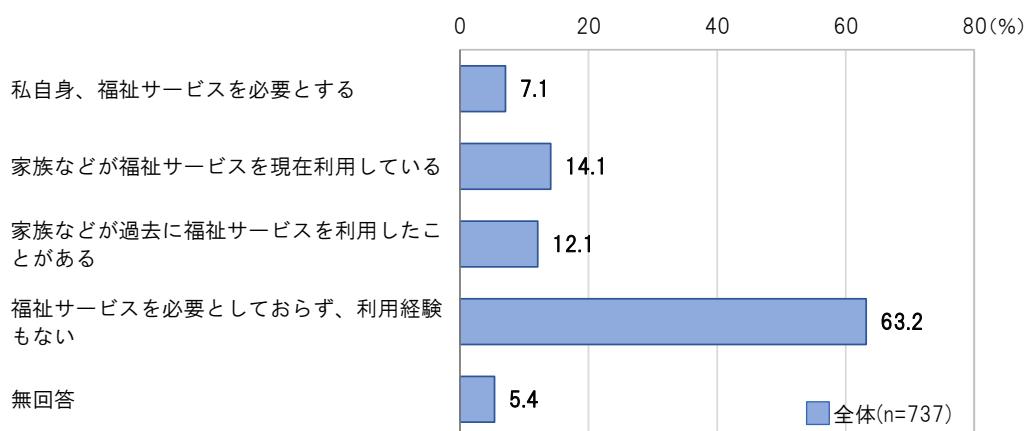
		回答者数（人）	精華町の広報誌	インターネット	病院などの医療機関	家族・親族	近所の人	精華町役場の窓口	自治会	社会福祉協議会	ケアマネジャー	福祉サービス事業者	(%)
性別													
男性	310	64.2	39.7	24.2	16.8	10.3	14.8	11.6	8.4	7.4	3.5		
女性	423	70.7	36.9	16.5	16.8	15.6	10.4	8.3	9.7	5.7	2.8		
年代別	10~20歳代	48	41.7	54.2	12.5	35.4	4.2	6.3	2.1	2.1	-	2.1	
	30歳代	51	52.9	49.0	3.9	21.6	15.7	11.8	5.9	2.0	-	-	
	40歳代	118	70.3	56.8	13.6	14.4	14.4	5.9	8.5	5.9	1.7	3.4	
	50歳代	129	72.1	43.4	11.6	12.4	10.9	12.4	9.3	6.2	5.4	1.6	
	60歳代	143	70.6	40.6	18.2	14.7	12.6	17.5	9.1	9.1	7.0	2.8	
	70歳代	162	77.2	27.2	30.9	13.6	16.7	16.0	14.8	14.8	8.6	3.7	
	80歳以上	86	60.5	7.0	37.2	24.4	15.1	9.3	9.3	15.1	16.3	7.0	

		回答者数（人）	地域包括支援センター	子育て支援センター	障害者生活支援センター	民生児童委員など	母子健康包括支援センター	成年後見支援センター	その他	わからない	無回答		
性別													
男性	310	1.6	0.6	1.3	1.3	0.3	0.3	0.3	5.8	4.5	3.2		
女性	423	3.5	2.6	1.7	1.4	0.2	-	-	3.3	1.9	2.6		
年代別	10~20歳代	48	2.1	4.2	2.1	-	-	-	-	8.3	2.1		
	30歳代	51	-	19.6	-	-	3.9	-	5.9	5.9	-		
	40歳代	118	-	1.7	1.7	-	-	-	3.4	3.4	-		
	50歳代	129	1.6	-	3.1	-	-	0.8	3.9	3.9	2.3		
	60歳代	143	1.4	-	1.4	0.7	-	-	4.9	2.1	2.8		
	70歳代	162	5.6	-	1.2	2.5	-	-	4.9	0.6	2.5		
	80歳以上	86	7.0	-	-	5.8	-	-	5.8	2.3	10.5		

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

#### (4) 福祉サービスの利用状況

- 福祉サービスの利用状況は、「福祉サービスを必要としておらず、利用経験もない」が63.2%と6割を超えて最も多く、「私自身、福祉サービスを必要とする」は1割未満(7.1%)、「家族などが福祉サービスを現在利用している」は1割程度(14.1%)となっている。



#### 《性別・年代別》

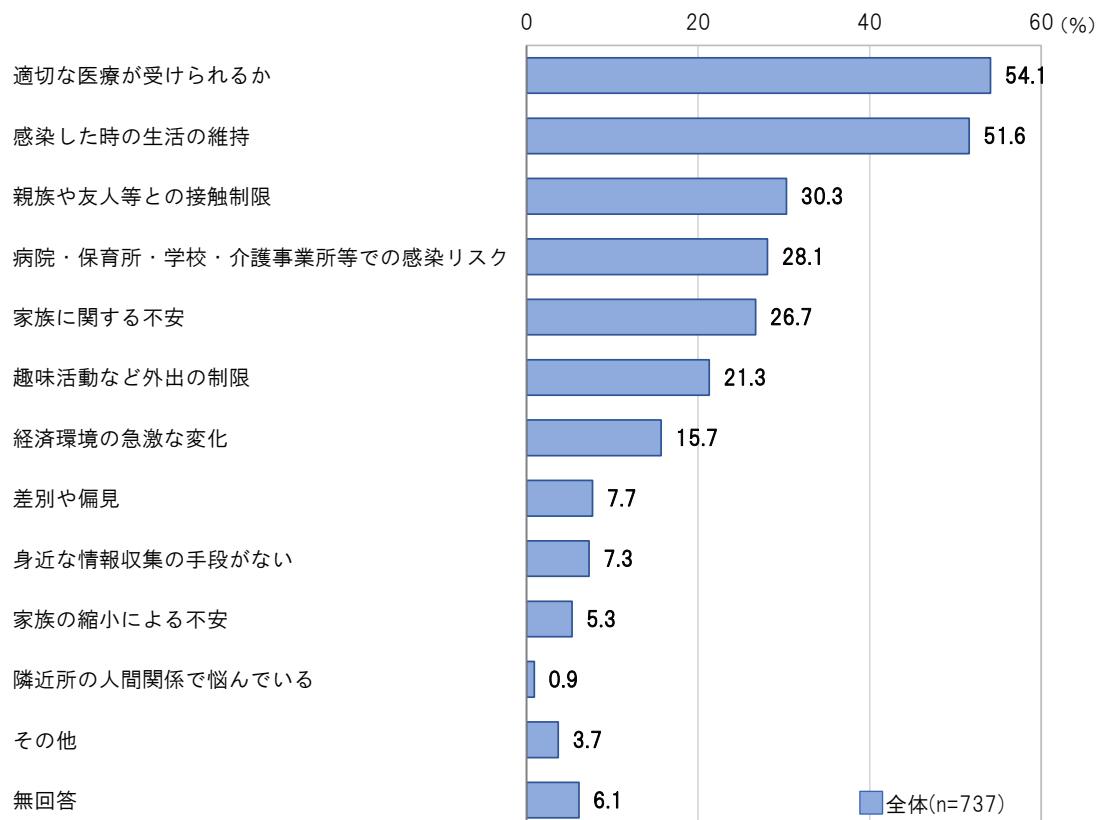
- 性別には、大きな差異はみられない。
- 年代別にみると、80歳以上で「私自身、福祉サービスを必要とする」が2割を超えて最も高くなっている。
- また、50～70歳代では「家族などが福祉サービスを現在利用している」が2割近くを占め、その他の年代に比べて高くなっている。

		回答者数(人)	私自身、福祉サービスを必要とする	家族などが福祉サービスを現在利用している	家族などが過去に福祉サービスを利用したことがある	いておらず、福祉サービスを利用経験もない	無回答
性別	男性	310	7.1	15.5	13.2	61.0	4.5
	女性	423	7.1	13.2	11.3	64.5	6.1
年代別	10～20歳代	48	2.1	6.3	6.3	83.3	2.1
	30歳代	51	13.7	9.8	7.8	68.6	2.0
	40歳代	118	4.2	8.5	13.6	72.9	2.5
	50歳代	129	2.3	17.1	10.9	69.8	3.1
	60歳代	143	3.5	18.2	19.6	54.5	6.3
	70歳代	162	5.6	17.3	8.6	61.7	8.0
	80歳以上	86	25.6	11.6	11.6	43.0	10.5

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

## (5) 新型コロナウイルスの影響によって、生活の中で不安に感じること

- ・新型コロナウイルスの影響によって、生活の中で不安に感じることは、「適切な医療が受けられるか」(54.1%) および「感染した時の生活の維持」(51.6%) がともに半数を超えて高くなっている。次いで、「親族や友人等との接触制限」(30.3%)、「病院・保育所・学校・介護事業所等での感染リスク」(28.1%)、「家族に関する不安」(26.7%) の順となっている。



## 《性別・年代別》

- ・性別にみると、男性では「家族に関する不安」や「趣味活動など外出の制限」、「経済環境の急激な変化」などが女性に比べて高く、女性では「適切な医療が受けられるか」などが男性に比べて高くなっている。
- ・年代別にみると、10~20歳代では「親族や友人等との接触制限」、80歳以上では「感染した時の生活の維持」、その他の年代では「適切な医療が受けられるか」が最も高くなっている。
- ・また、30~40歳代では「病院・保育所・学校・介護事業所等での感染リスク」が、その他の年代に比べて高くなっている。

		回答者数 (人)	か 適 切 な 医 療 が 受 け ら れ る	感 染 し た 時 の 生 活 の 維 持	限 親 族 や 友 人 等 と の 接 触 制	病 院 ・ 保 育 所 ・ 学 校 ・ 介 護	家 族 に 関 す る 不 安	趣 味 活 動 な ど 外 出 の 制 限	經 濟 環 境 の 急 激 な 變 化
性 別									(%)
性 別	男性	310	49.0	51.3	30.0	28.1	30.3	23.5	20.3
	女性	423	57.9	51.8	30.7	28.1	23.9	19.6	12.1
年 代 別	10~20歳代	48	33.3	31.3	37.5	14.6	33.3	31.3	20.8
	30歳代	51	64.7	62.7	56.9	54.9	33.3	29.4	23.5
	40歳代	118	58.5	54.2	24.6	37.3	27.1	20.3	29.7
	50歳代	129	60.5	54.3	21.7	20.9	22.5	15.5	15.5
	60歳代	143	56.6	54.5	35.0	24.5	29.4	18.2	13.3
	70歳代	162	49.4	45.7	29.0	24.7	24.7	28.4	8.0
	80歳以上	86	48.8	54.7	25.6	30.2	24.4	12.8	8.1

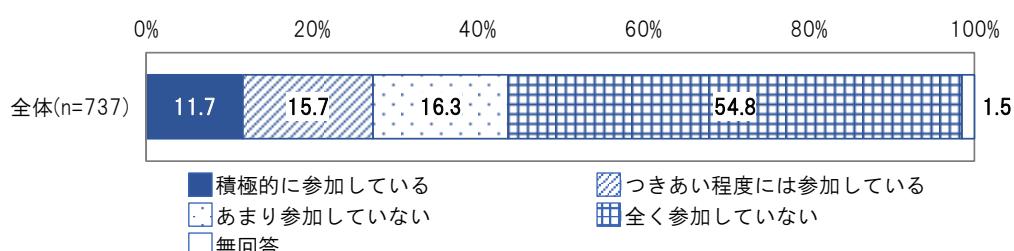
		回答者数 (人)	差 別 や 偏 見	身 近 な 情 報 収 集 の 手 段 が	家 族 の 縮 小 に よ る 不 安	で い る 隣 近 所 の 人 間 関 係 で 悩 ん	そ の 他	無 回 答
性 別								
性 別	男性	310	8.4	9.4	6.1	1.3	3.5	5.2
	女性	423	7.3	5.9	4.5	0.7	3.8	6.6
年 代 別	10~20歳代	48	6.3	2.1	-	-	2.1	2.1
	30歳代	51	11.8	7.8	5.9	-	2.0	-
	40歳代	118	14.4	1.7	1.7	0.8	3.4	2.5
	50歳代	129	6.2	3.9	1.6	-	5.4	5.4
	60歳代	143	7.0	7.0	5.6	-	5.6	2.8
	70歳代	162	4.9	11.1	7.4	1.9	3.1	10.5
	80歳以上	86	5.8	16.3	14.0	3.5	1.2	15.1

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

## 4. 地域福祉に係る活動への参加について

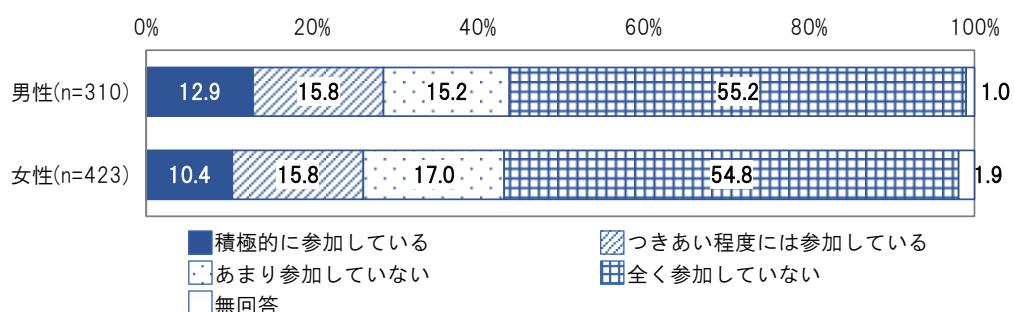
### (1) 自治会をはじめとする地域団体の活動への参加状況

- 自治会をはじめとする地域団体の活動への参加状況は、「全く参加していない」が54.8%と半数以上を占め、「あまり参加していない」(16.3%)と合わせると、『参加していない』人が7割以上を占めている。
- 一方で、「積極的に参加している」と「つきあい程度には参加している」を合わせた『参加している』人が3割未満となっている。



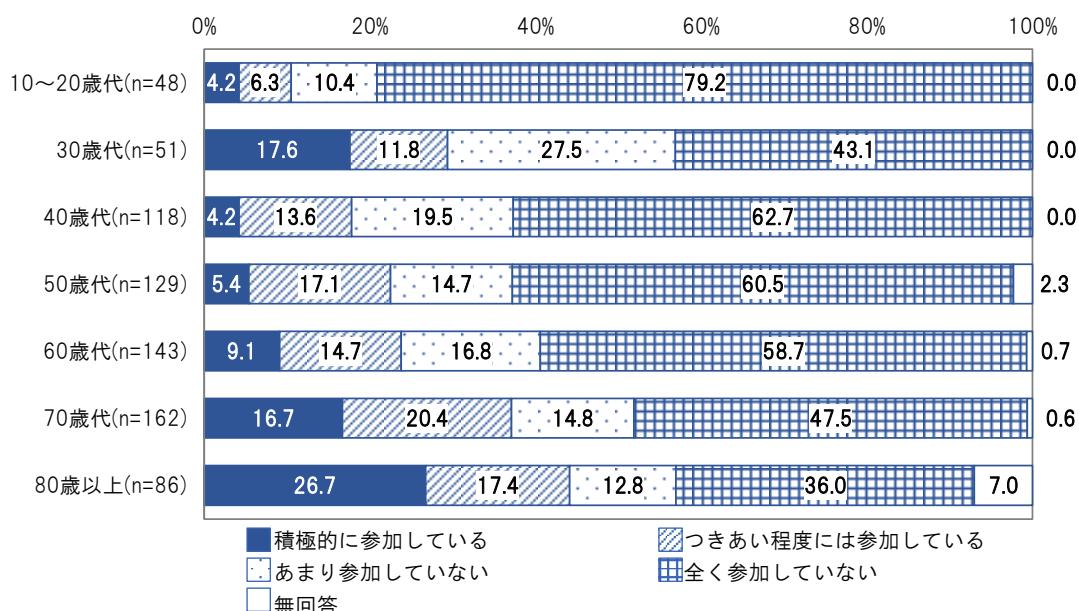
### 《性別》

- 性別にみると、『参加している』が女性に比べて男性でやや高いものの、大きな差異はみられない。



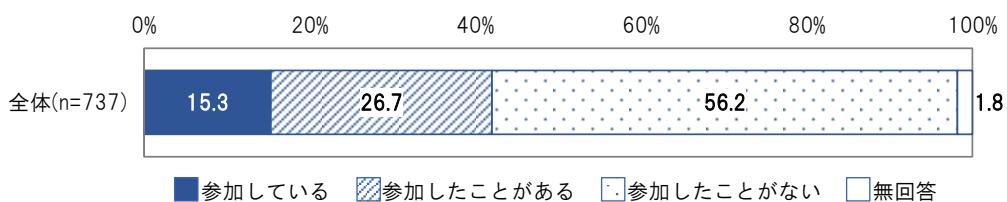
### 《年代別》

- 年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて『参加している』が高くなる傾向がみられ、80歳以上では4割以上(44.1%)となっているのに対し、10~20歳代では約1割(10.5%)の参加率となっている。また、年代が下がるにつれて『参加している』が低くなる傾向があるものの、30歳代では約3割(29.4%)と高くなっている。



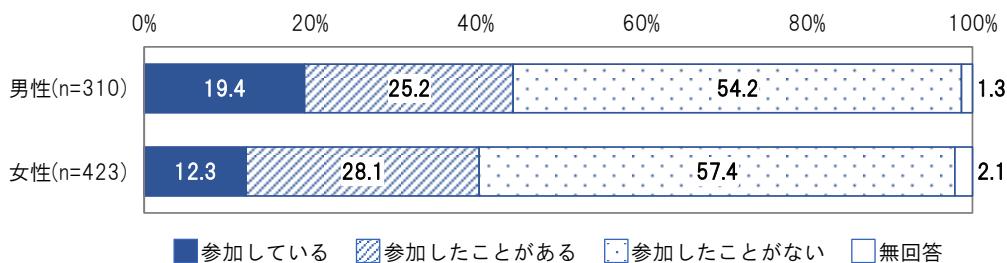
## (2) ボランティアなどの活動への参加状況

- ボランティアなどの活動への参加状況は、「参加したことがない」が56.2%と半数以上を占めて最も高く、次いで「参加したことがある」が26.7%となっており、「参加している」は2割未満(15.3%)となっている。



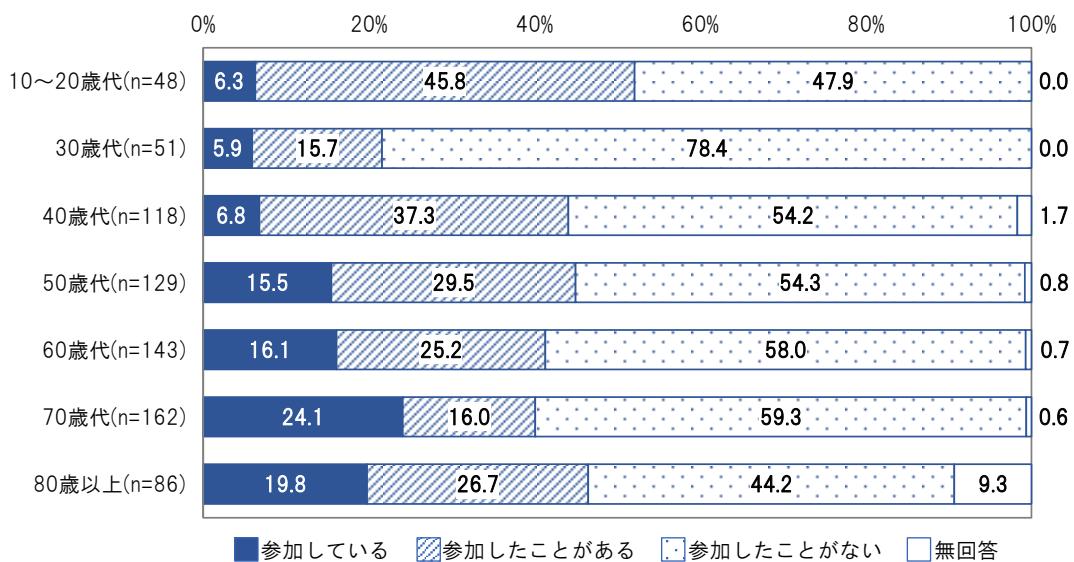
### 《性別》

- 性別にみると、「参加している」が男性では19.4%と、女性(12.3%)を7.1ポイント上回っている。



### 《年代別》

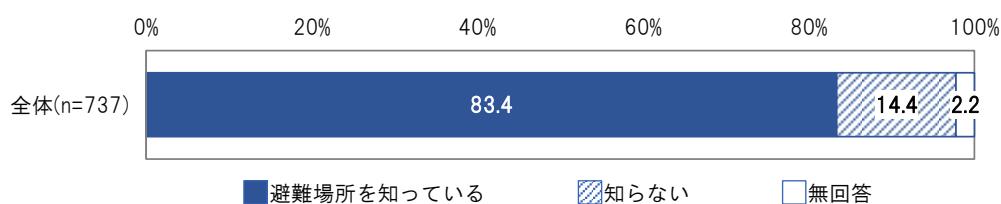
- 年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて「参加している」が高くなる傾向がみられ、特に、70歳代では2割以上(24.1%)の参加率となっている。
- 10~20歳代では「参加したことがある」が4割以上(45.8%)を占め、その他の年代に比べて高くなっている。



## 5. 緊急災害時について

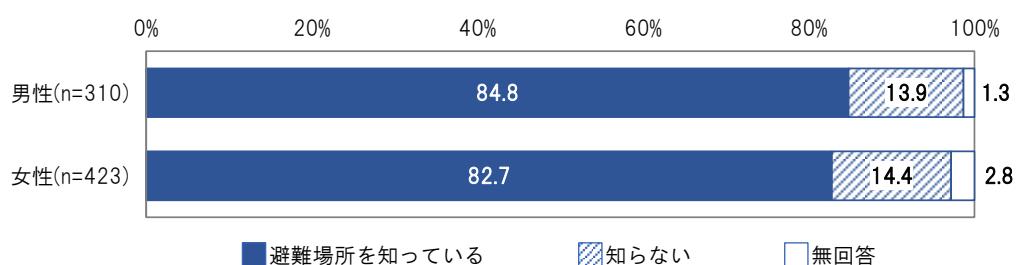
### (1) 緊急災害時の避難場所の認知度

- 緊急災害時の避難場所の認知度は、「避難場所を知っている」が83.4%と8割以上を占めているものの、「知らない」が14.4%と1割を超えており、「無回答」が2.2%である。



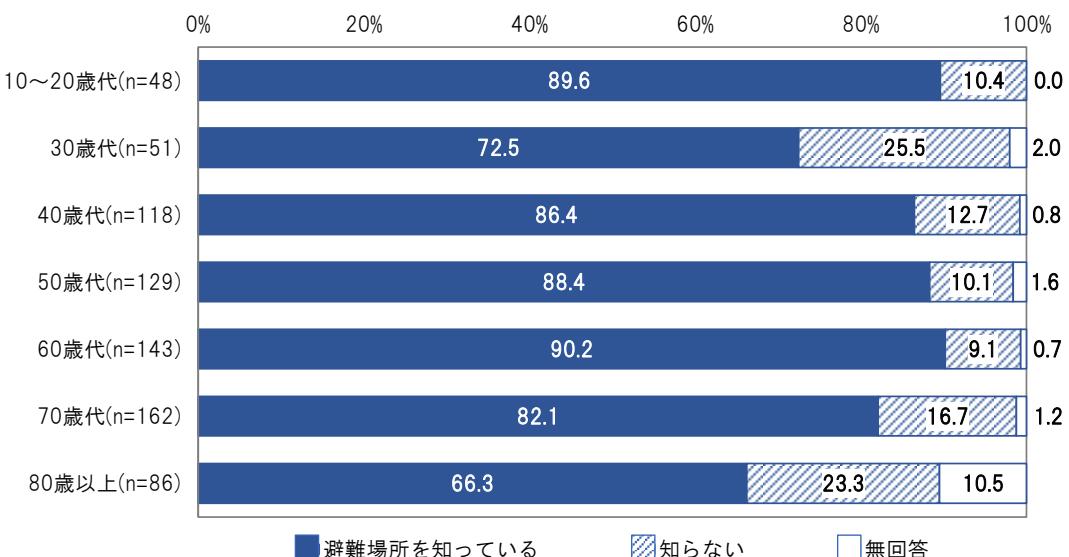
#### 《性別》

- 性別にみると、「避難場所を知っている」が女性に比べて男性でやや高いものの、大きな差異はない。



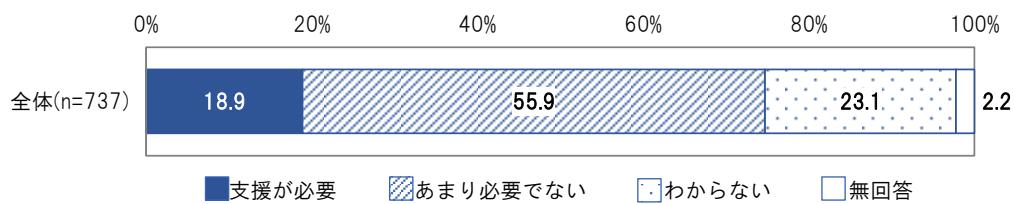
#### 《年代別》

- 年代別にみると、「避難場所を知っている」が60歳代で90.2%と最も高く、80歳以上で66.3%と最も低くなっている。
- 「知らない」をみると、30歳代、80歳以上でともに2割を超えており、その他の年代に比べて高くなっている。



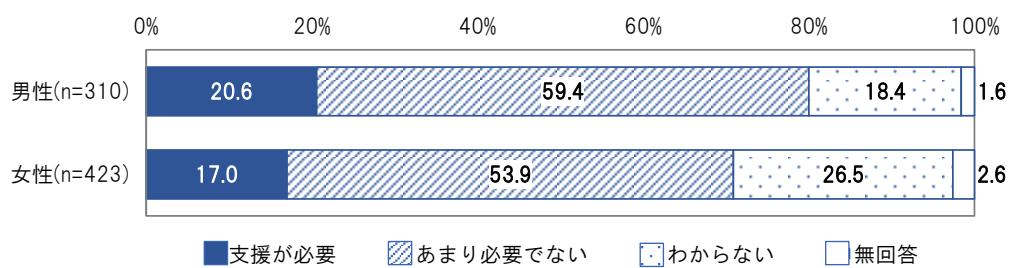
## (2) 緊急災害時の支援の必要性

- 緊急災害時の支援の必要性は、「あまり必要でない」が55.9%と半数以上を占めて最も多くなっているものの、「支援が必要」が18.9%と2割近くを占めている。



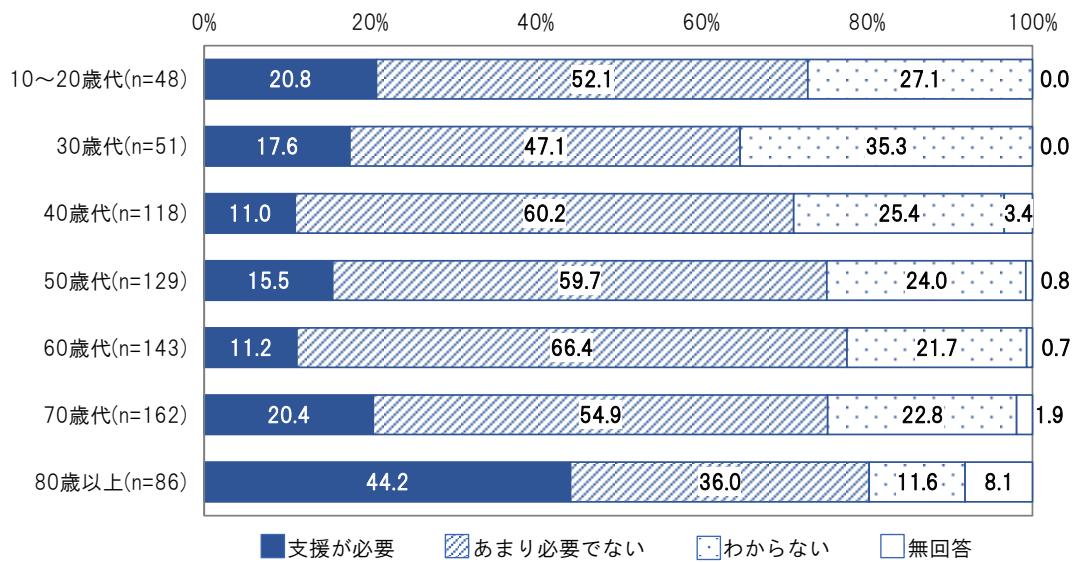
### 《性別》

- 性別にみると、「支援が必要」が女性に比べて男性でやや高いものの、大きな差異はみられない。



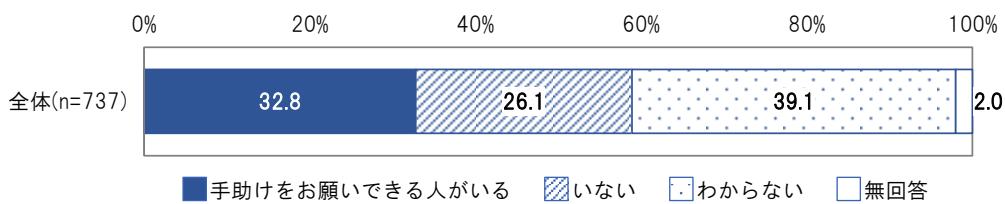
### 《年代別》

- 年代別にみると、80歳以上では「支援が必要」が44.2%と4割を超えて最も高くなっている。



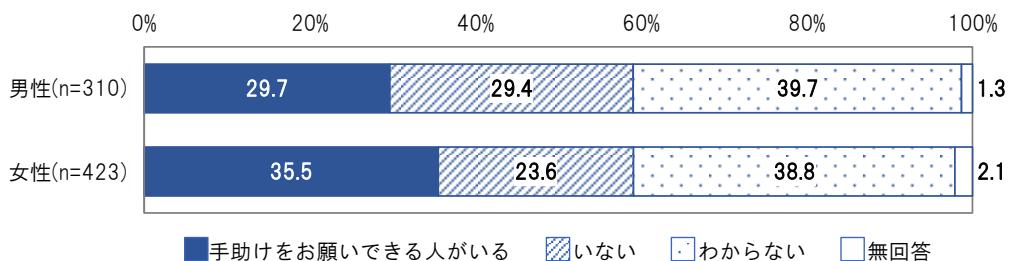
### (3) 緊急災害時に避難の手助けをお願いできる近所の人の有無

- 緊急災害時に避難の手助けをお願いできる近所の人の有無は、「手助けをお願いできる人がいる」が32.8%と3割以上を占めているものの、「いない」が26.1%と3割近くを占めている。



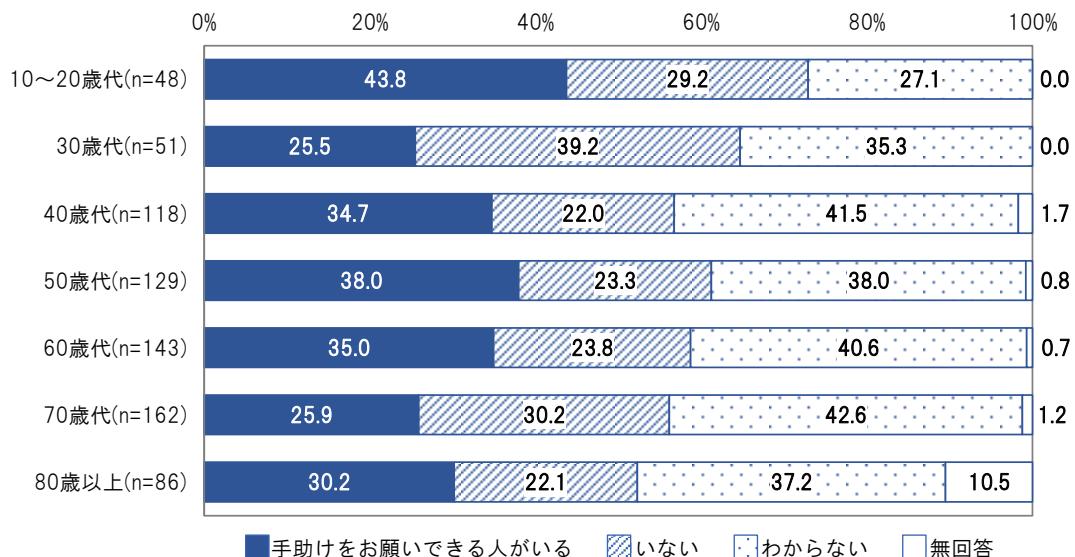
#### 《性別》

- 性別にみると、「手助けをお願いできる人がいる」が男性に比べて女性で高くなっている。
- (2) と比べると、男性では支援が必要な人が多いものの、手助けをお願いできる人が少ないとわかる。



#### 《年代別》

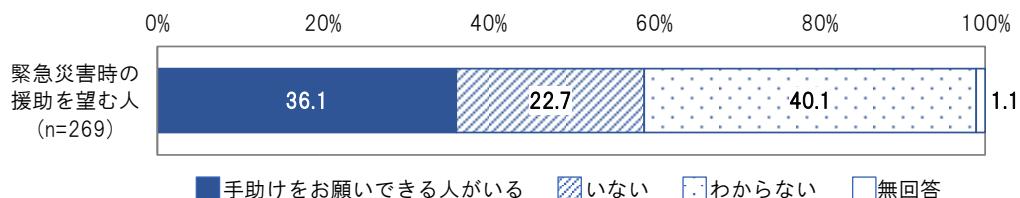
- 年代別にみると、(2) で支援が必要と回答した人が多かった80歳以上では「手助けをお願いできる人がいる」は3割程度(30.2%)となっている。



## 《緊急災害時の援助を望む人の状況》

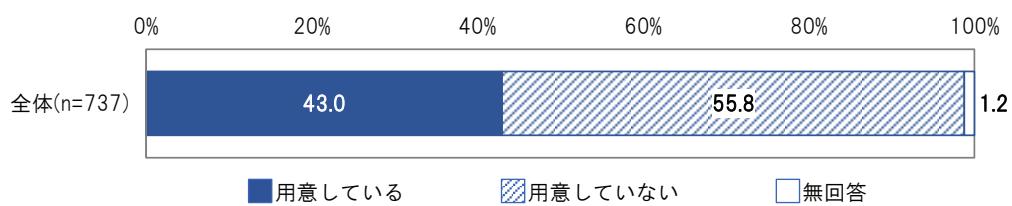
※2（6）で「緊急災害時の援助」と回答した人のみ

- ・緊急災害時の援助を望む人の避難の手助けをお願いできる近所の人の有無は、「手助けをお願いできる人がいる」が36.1%と、住民全体（32.8%）と比べるとやや高いものの、大きな差異はみられない。
- ・また、緊急災害時の援助を望む人のうち、2割（22.7%）は避難の手助けをお願いできる近所の人が「いない」という結果となっている。



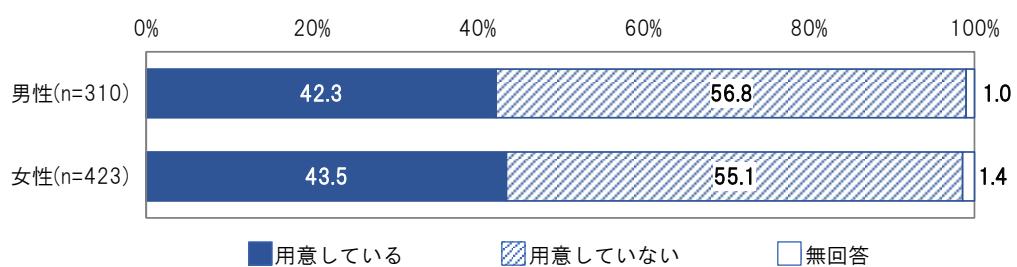
#### (4) 3日分の必要物品の用意の状況

- 3日分の必要物品の用意の状況は、「用意していない」が55.8%と半数以上を占めており、「用意している」は4割程度(43.0%)となっている。



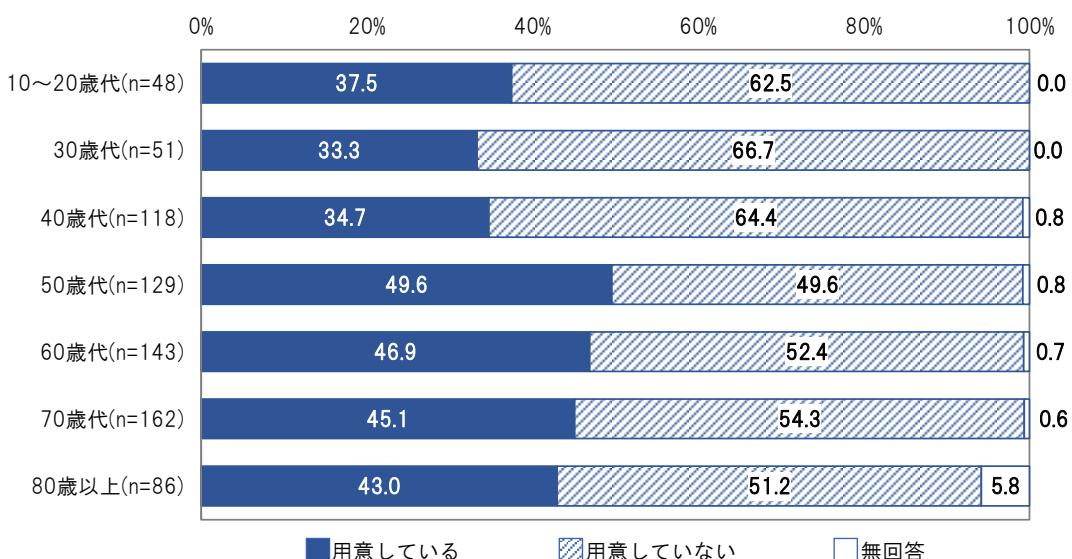
#### 《性別》

- 性別には、大きな差異はみられない。



#### 《年代別》

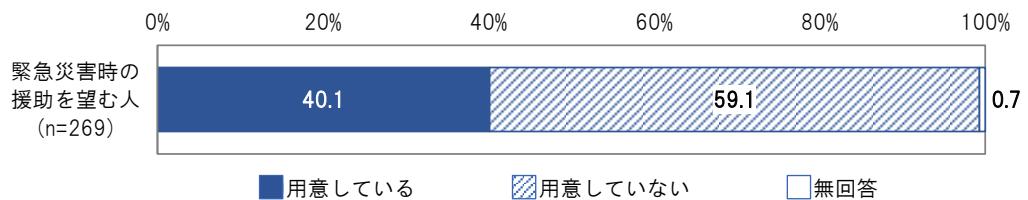
- 年代別にみると、すべての年代で「用意していない」が「用意している」を上回る結果となっている。
- 50歳以上で「用意している」が高くなっている、特に50歳代では約半数(49.6%)となっている。



## 《緊急災害時の援助を望む人の状況》

※2（6）で「緊急災害時の援助」と回答した人のみ

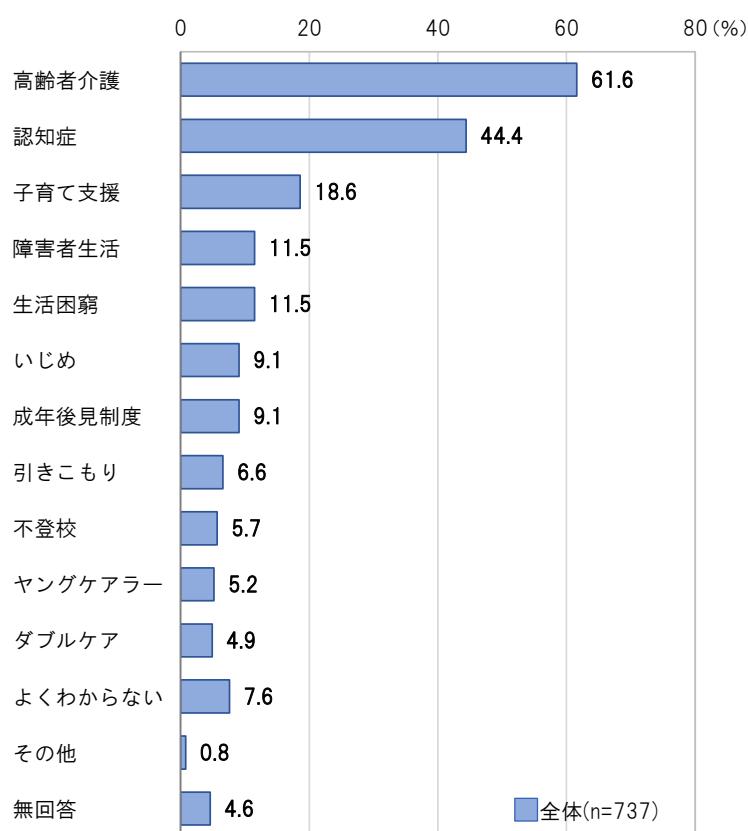
- ・緊急災害時の援助を望む人の3日分の必要物品の用意の状況は、「用意していない」が59.1%と約6割を占めており、「用意している」は約4割（40.1%）となっている。
- ・「用意している」人の割合は、住民全体（43.0%）と比べるとやや低いものの、大きな差異はみられない。



## 6. 福祉課題や見守り・生活支援について

### (1) 福祉課題や福祉制度で関心のあること

・福祉課題や福祉制度で関心のあることは、「高齢者介護」が61.6%と6割以上を占めて最も高く、次いで「認知症」(44.4%)、「子育て支援」(18.6%)、「障害者生活」および「生活困窮」(11.5%)の順となっている。



## 《性別・年代別》

- ・性別にみると、男性では「高齢者介護」や「障害者生活」、「生活困窮」などが女性に比べて高く、女性では「子育て支援」や「不登校」などが男性に比べて高くなっている。
- ・年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて「高齢者介護」や「認知症」などの回答が高くなる傾向がみられる。また、30~40歳代では「子育て支援」や「いじめ」、「不登校」などの子どもに関する項目で、その他の年代に比べて高くなっている。

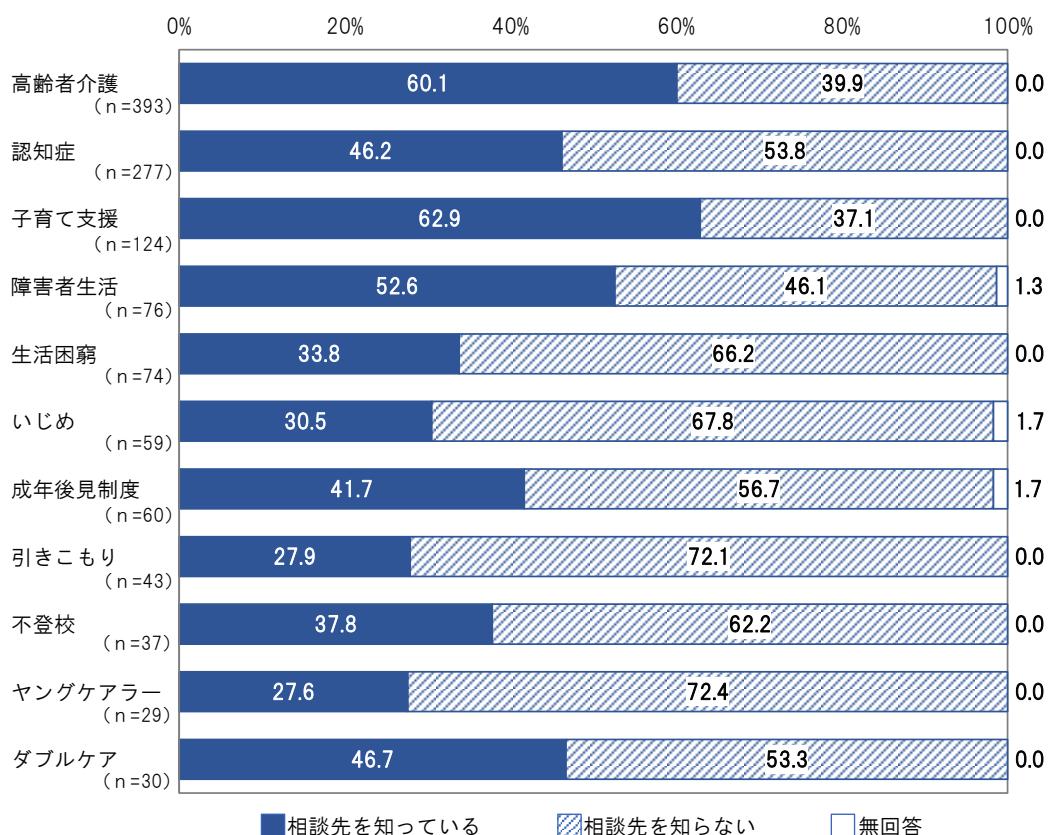
		回答者数 (人)	高齢者介護	認知症	子育て支援	障害者生活	生活困窮	いじめ	成年後見制度	(%)
性別	男性	310	67.4	47.4	16.1	14.5	14.2	7.7	7.7	
	女性	423	57.2	42.3	20.3	9.5	9.5	9.9	9.9	
年代別	10~20歳代	48	35.4	18.8	27.1	8.3	14.6	12.5	6.3	
	30歳代	51	19.6	17.6	72.5	3.9	15.7	27.5	5.9	
	40歳代	118	45.8	26.3	42.4	12.7	10.2	22.0	5.1	
	50歳代	129	62.0	47.3	11.6	12.4	15.5	6.2	11.6	
	60歳代	143	73.4	59.4	10.5	9.8	10.5	2.8	7.7	
	70歳代	162	75.3	50.6	3.7	15.4	11.1	4.9	11.1	
	80歳以上	86	76.7	58.1	1.2	10.5	5.8	1.2	12.8	

		回答者数 (人)	引きこもり	不登校	ヤングケアラー	ダブルケア	よくわからない	その他	無回答
(つづき)									
性別	男性	310	6.5	3.5	4.2	5.8	8.1	1.3	3.2
	女性	423	6.9	7.3	5.9	4.3	7.3	0.5	5.7
年代別	10~20歳代	48	2.1	12.5	6.3	2.1	22.9	2.1	-
	30歳代	51	2.0	15.7	7.8	5.9	7.8	-	-
	40歳代	118	13.6	16.9	9.3	4.2	5.1	-	3.4
	50歳代	129	9.3	1.6	6.2	3.9	10.9	-	5.4
	60歳代	143	8.4	2.1	4.2	6.3	6.3	2.8	2.8
	70歳代	162	2.5	1.9	3.1	6.2	5.6	-	6.2
	80歳以上	86	3.5	-	1.2	3.5	3.5	1.2	10.5

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

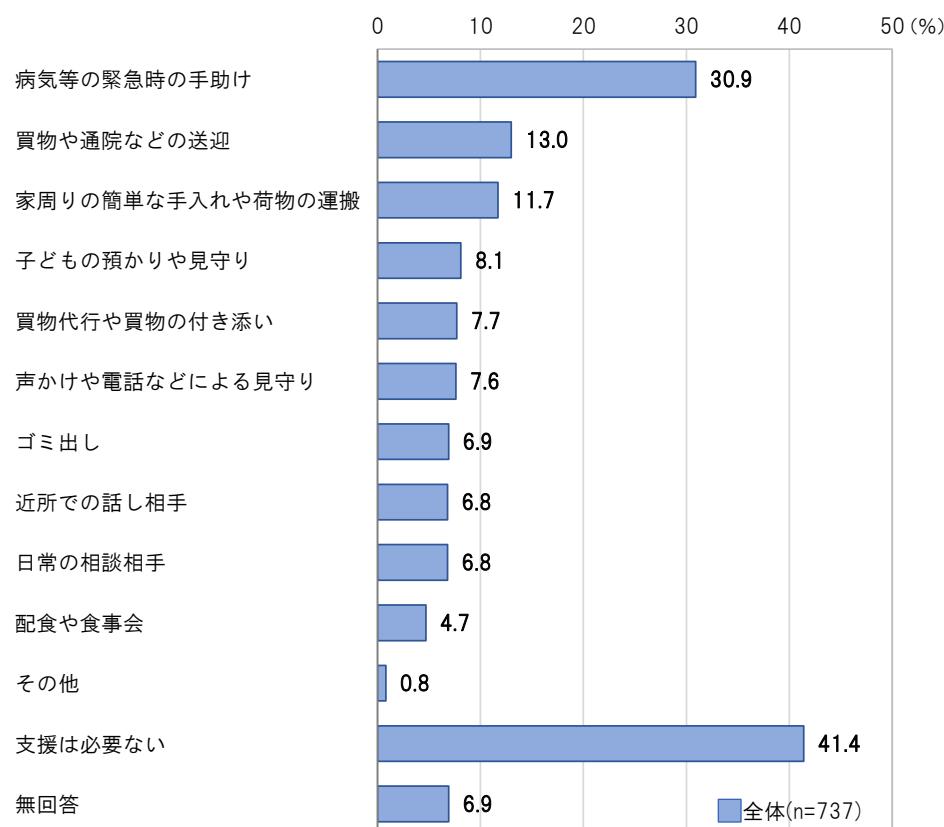
## (2) 関心のある福祉課題や福祉制度に関する相談先の認知度

- ・(1)で回答した関心のある福祉課題や福祉制度についての相談先の認知度では、「相談先を知っている」をみると、 “子育て支援” で 62.9%と6割を超えて最も高く、次いで “高齢者介護” (60.1%)、 “障害者生活” (52.6%) の順となっている。
- ・その他の項目では相談先の認知度は半数未満と低く、特に “引きこもり” や “ヤングケアラー” では3割未満の認知度となっている。



### (3) 地域で利用したいと思う生活支援

- ・地域で利用したいと思う生活支援は、「支援は必要ない」が41.4%と最も高くなっている。
- ・具体的な生活支援では、「病気等の緊急時の手助け」が30.9%と高く、次いで「買物や通院などの送迎」(13.0%)、「家周りの簡単な手入れや荷物の運搬」(11.7%)の順となっている。



## 《性別・年代別》

- ・性別にみると、男性では「近所での話し相手」などが女性に比べて高く、女性では「子どもの預かりや見守り」などが男性に比べて高くなっている。
- ・年代別にみると、30歳代、80歳以上では「病気等の緊急時の手助け」が最も高くなっている。
- ・また、30~40歳代では「子どもの預かりや見守り」、70歳以上では「買物や通院などの送迎」や「声かけや電話などによる見守り」が、それぞれその他の年代に比べて高くなっている。

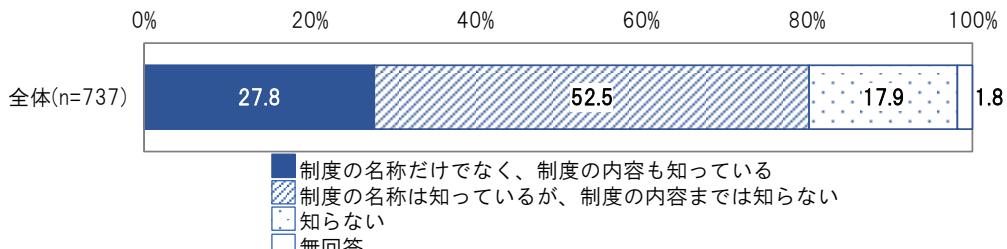
		回答者数（人）	病気等の緊急時の手助け	買物や通院などの送迎	荷物の運搬	家周りの簡単な手入れや	子どもの預かりや見守り	買い物代行や買物の付き添い	声かけや電話などによる見守り	ゴミ出し	(%)
性別	男性	310	30.6	11.9	11.9	4.8	8.1	7.7	7.4		
	女性	423	30.7	13.7	11.6	10.4	7.6	7.3	6.6		
年代別	10~20歳代	48	25.0	2.1	4.2	6.3	2.1	4.2	10.4		
	30歳代	51	51.0	5.9	11.8	41.2	3.9	5.9	13.7		
	40歳代	118	22.0	9.3	10.2	23.7	5.1	5.9	3.4		
	50歳代	129	27.1	11.6	11.6	4.7	10.9	3.9	6.2		
	60歳代	143	30.1	13.3	11.9	1.4	9.1	6.3	6.3		
	70歳代	162	32.1	18.5	14.2	-	6.8	12.3	7.4		
	80歳以上	86	39.5	19.8	12.8	-	11.6	11.6	7.0		

		回答者数（人）	近所での話し相手	日常の相談相手	配食や食事会	その他	支援は必要ない	無回答
(つづき)								
性別	男性	310	9.4	8.7	5.2	1.6	43.2	5.8
	女性	423	5.0	5.4	4.5	0.2	40.2	7.8
年代別	10~20歳代	48	4.2	8.3	4.2	-	54.2	6.3
	30歳代	51	9.8	13.7	2.0	2.0	17.6	-
	40歳代	118	4.2	7.6	3.4	0.8	42.4	3.4
	50歳代	129	-	3.9	3.1	0.8	51.9	7.0
	60歳代	143	4.9	5.6	7.0	-	50.3	7.0
	70歳代	162	9.9	6.8	7.4	1.2	37.7	8.6
	80歳以上	86	17.4	7.0	2.3	1.2	23.3	12.8

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

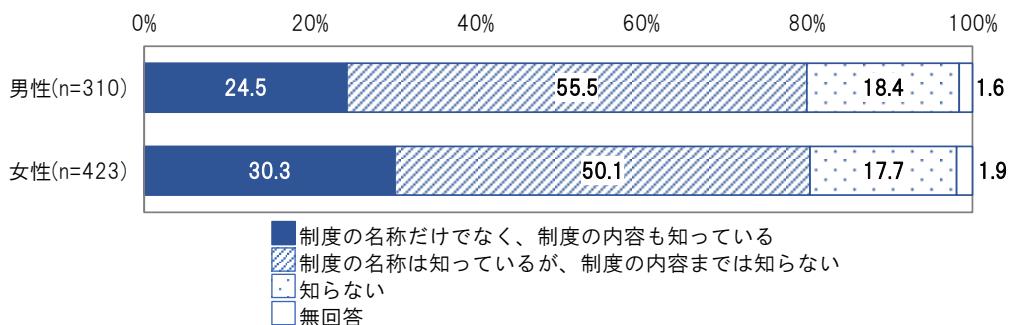
#### (4) 成年後見制度の認知度

- 成年後見制度の認知度は、「制度の名称は知っているが、制度の内容までは知らない」が52.5%と半数以上を占めて最も高く、「制度の名称だけでなく、制度の内容も知っている」は3割未満(27.8%)となっている。



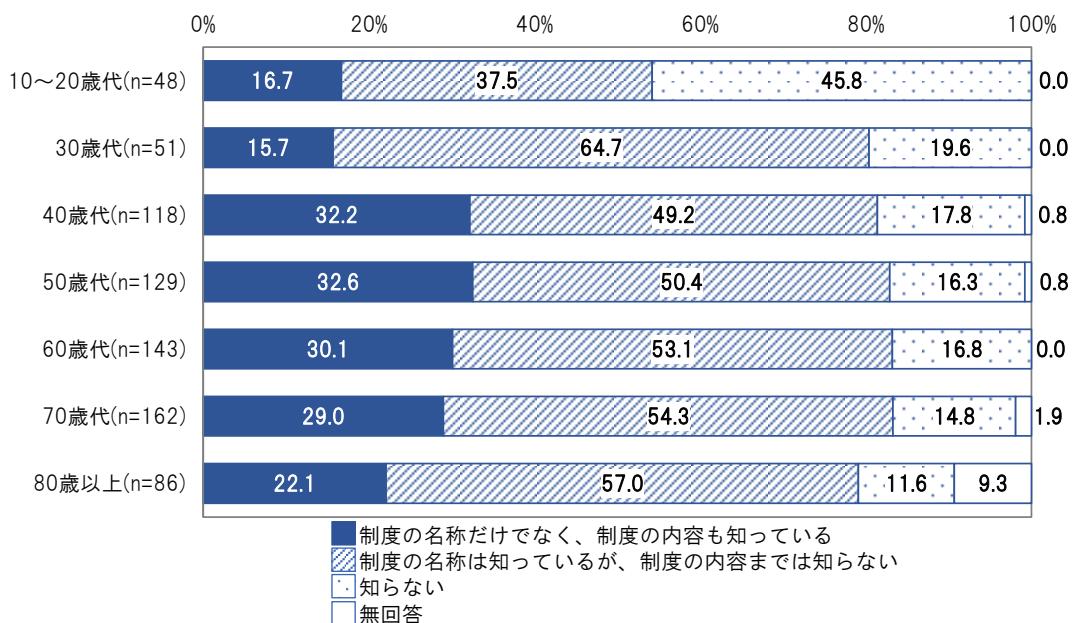
#### 《性別》

- 性別にみると、「制度の名称だけでなく、制度の内容も知っている」が女性では30.3%と、男性(24.5%)を5.8ポイント上回っている。



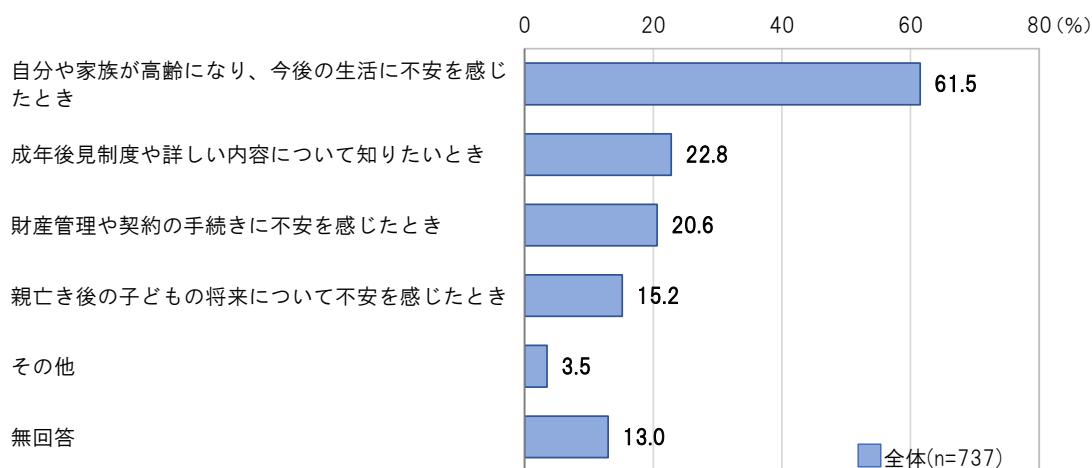
#### 《年代別》

- 年代別にみると、概ね年代が下がるにつれて「知らない」が高くなる傾向がみられ、10~20歳代では45.8%と4割以上を占めている。
- 「制度の名称だけでなく、制度の内容も知っている」をみると、40歳以上で認知度が高くなっているものの、認知度の高い40~70歳代でも3割程度となっている。



## (5) 精華町権利擁護・成年後見センターの利用意向

- 精華町権利擁護・成年後見センターの利用意向は、「自分や家族が高齢になり、今後の生活に不安を感じたとき」が61.5%と6割以上を占めて最も高く、次いで「成年後見制度や詳しい内容について知りたいとき」(22.8%)、「財産管理や契約の手続きに不安を感じたとき」(20.6%)の順となっている。



### 《性別・年代別》

- 性別には、大きな差異はみられない。
- 年代別にみると、すべての年代で「自分や家族が高齢になり、今後の生活に不安を感じたとき」が最も高くなっている。
- また、30~40歳代では「親亡き後の子どもの将来について不安を感じたとき」がともに2割を超えており、その他の年代に比べて高くなっている。

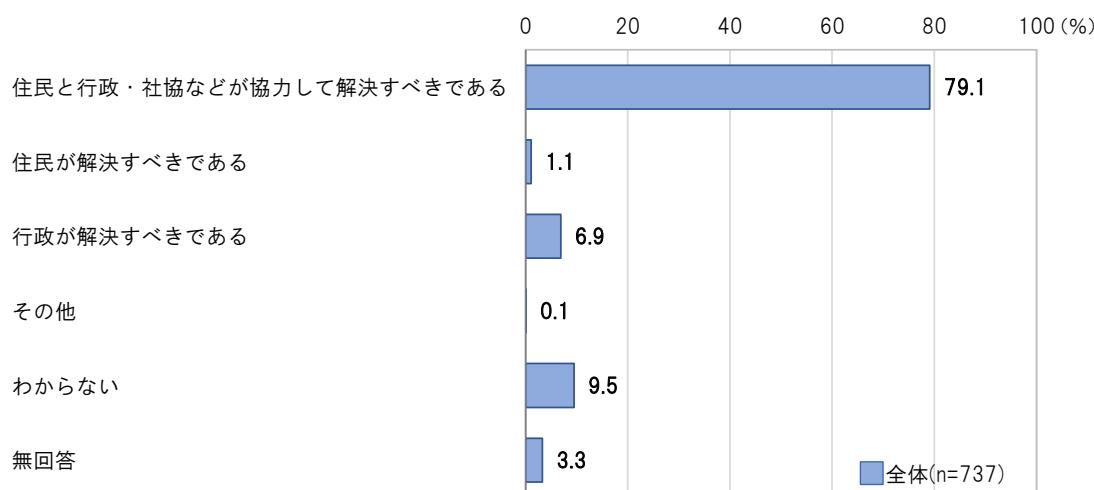
		回答者数(人)	自分や家族が高齢になり、今後の生活に不安を感じたとき	成年後見制度や詳しい内容について知りたいとき	財産管理や契約の手続きに不安を感じたとき	親亡き後の子どもの将来について不安を感じたとき	その他	無回答	(%)
性別	男性	310	<b>61.3</b>	22.3	21.3	14.2	5.5	11.0	
	女性	423	<b>61.9</b>	22.9	20.3	15.8	2.1	14.2	
年代別	10~20歳代	48	<b>70.8</b>	27.1	22.9	12.5	2.1	6.3	
	30歳代	51	<b>66.7</b>	35.3	21.6	27.5	2.0	5.9	
	40歳代	118	<b>69.5</b>	22.0	24.6	25.4	0.8	5.9	
	50歳代	129	<b>71.3</b>	25.6	21.7	17.1	-	4.7	
	60歳代	143	<b>62.2</b>	20.3	23.8	15.4	5.6	8.4	
	70歳代	162	<b>55.6</b>	21.0	17.3	6.8	3.7	21.6	
	80歳以上	86	<b>37.2</b>	17.4	12.8	8.1	10.5	34.9	

※ 1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

## 7. 地域福祉の取り組みについて

### (1) 地域の問題や課題の解決方法についての考え方

- ・地域の問題や課題の解決方法についての考え方、「住民と行政・社協などが協力して解決すべきである」が79.1%と約8割を占めており、ほとんどの人が協力して解決すべきと考えている結果となっている。



#### 《性別・年代別》

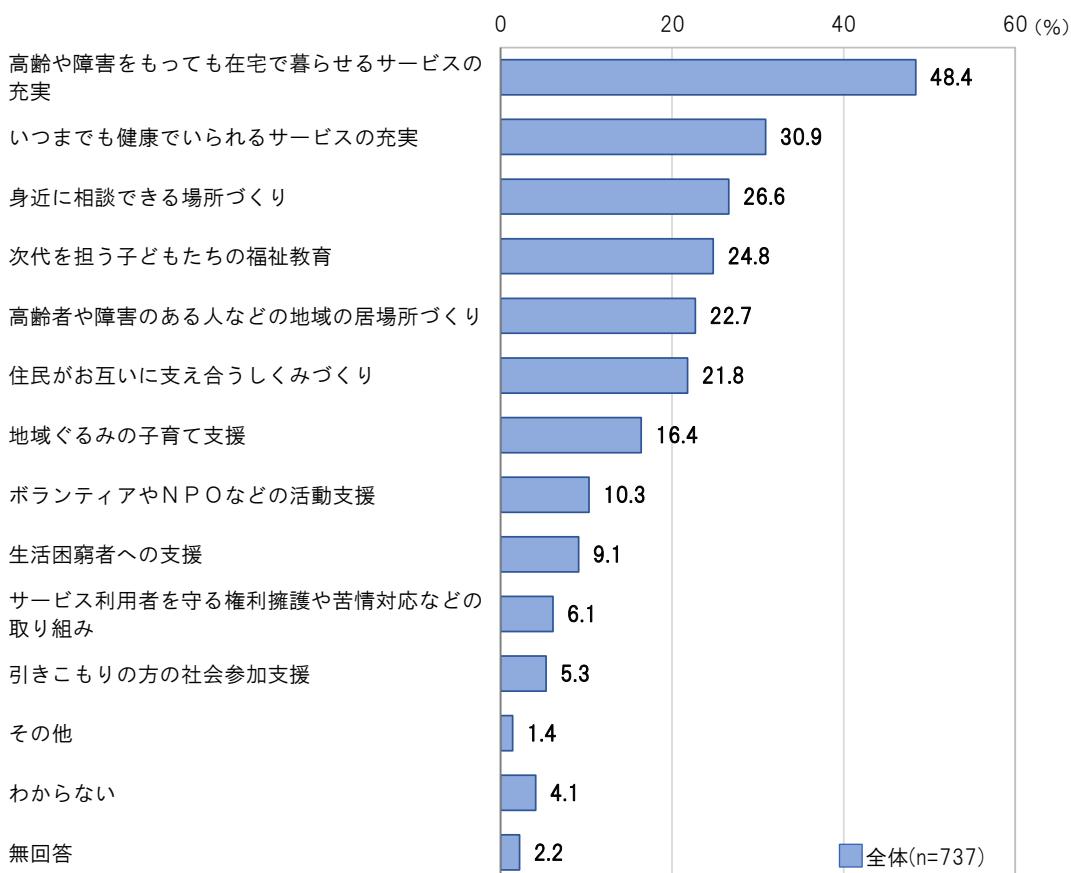
- ・性別にみると、男性では「行政が解決すべきである」が女性に比べて高くなっている。
- ・年代別にみると、すべての年代で「住民と行政・社協などが協力して解決すべきである」が最も高くなっている。
- ・また、10~20歳代では「行政が解決すべきである」が1割を超えており、その他の年代に比べてやや高くなっている。

		回答者数(人)	住民と行政・社協などが協力して解決すべきである	住民が解決すべきである	行政が解決すべきである	その他	わからない	無回答
性別	男性	310	77.4	1.9	10.0	-	7.4	3.2
	女性	423	80.4	0.5	4.7	0.2	11.1	3.1
年代別	10~20歳代	48	68.8	2.1	12.5	-	16.7	-
	30歳代	51	84.3	-	9.8	-	5.9	-
	40歳代	118	83.9	1.7	5.9	-	5.9	2.5
	50歳代	129	81.4	0.8	7.0	-	10.9	-
	60歳代	143	83.9	2.1	5.6	-	6.3	2.1
	70歳代	162	77.2	-	8.0	-	8.6	6.2
	80歳以上	86	67.4	1.2	3.5	1.2	17.4	9.3

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

## (2) 今後、精華町が優先して充実すべき施策

- 今後、精華町が優先して充実すべき施策は、「高齢や障害をもっても在宅で暮らせるサービスの充実」が48.4%と半数近くを占めて最も高く、次いで「いつまでも健康でいられるサービスの充実」(30.9%)、「身近に相談できる場所づくり」(26.6%)、「次代を担う子どもたちの福祉教育」(24.8%)の順となっている。



## 《性別・年代別》

- 性別にみると、男性では「高齢や障害をもっても在宅で暮らせるサービスの充実」や「ボランティアやNPOなどの活動支援」などが女性に比べて高く、女性では「次代を担う子どもたちの福祉教育」などが男性に比べて高くなっている。
- 年代別にみると、30~40歳代では「次代を担う子どもたちの福祉教育」や「地域ぐるみの子育て支援」などの子どもに関する施策が高くなっている。また、50~60歳代では「身近に相談できる場所づくり」、60歳以上では「いつまでも健康でいられるサービスの充実」、40歳代では「引きこもりの方の社会参加支援」などが、それぞれその他の年代に比べて高くなっている。

		回答者数（人）	高齢や障害をもっても在宅で暮らせるサービスの充実	いつまでも健康でいられるサービスの充実	身近に相談できる場所づくり	次代を担う子どもたちの福祉教育	高齢者や障害のある人などの地域の居場所づくり	住民がお互いに支え合うしくみづくり	地域ぐるみの子育て支援	(%)
性別	男性	310	51.9	32.6	26.1	23.5	22.9	22.6	17.4	
	女性	423	45.9	29.6	27.2	26.0	22.0	21.3	15.8	
年代別	10~20歳代	48	41.7	25.0	16.7	31.3	22.9	18.8	29.2	
	30歳代	51	21.6	29.4	17.6	60.8	11.8	9.8	43.1	
	40歳代	118	33.1	27.1	23.7	39.8	21.2	24.6	34.7	
	50歳代	129	51.9	27.9	31.8	20.9	27.9	22.5	11.6	
	60歳代	143	58.0	35.7	32.2	18.9	22.4	19.6	15.4	
	70歳代	162	57.4	32.1	24.1	13.0	22.8	24.1	3.1	
	80歳以上	86	51.2	34.9	29.1	17.4	23.3	25.6	2.3	

		回答者数（人）	ボランティアやNPOなどの活動支援	生活困窮者への支援	組み合わせや苦情対応などの取り組み	サービス利用者を守る権利	支援引きこもりの方の社会参加	その他	わからない	無回答
性別	男性	310	12.6	10.6	6.1	4.5	1.3	2.3	2.9	
	女性	423	8.7	7.8	6.1	5.9	1.4	5.4	1.7	
年代別	10~20歳代	48	10.4	8.3	6.3	2.1	2.1	2.1	2.1	
	30歳代	51	5.9	7.8	5.9	7.8	2.0	13.7	-	
	40歳代	118	11.9	11.0	5.1	12.7	2.5	2.5	0.8	
	50歳代	129	9.3	11.6	6.2	3.1	1.6	3.1	-	
	60歳代	143	10.5	10.5	8.4	5.6	0.7	2.1	1.4	
	70歳代	162	11.1	8.0	6.2	3.1	1.2	4.9	4.9	
	80歳以上	86	10.5	3.5	3.5	2.3	-	4.7	4.7	

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

### III 資料編（調査票）

#### 第5次精華町地域福祉活動計画・第4次精華町地域福祉計画 策定に関するアンケート調査

皆さんには、精華町社会福祉協議会（精華町社協）の福祉活動推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

精華町社協では、平成29（2017）年度に策定した第4次精華町地域福祉活動計画にもとづき、住民、地域組織、事業者の皆さんと一緒に、「地域で共に助けあい 支えあうまちづくり」をめざして、これまで、さまざまな事業に取り組んできました。そして、この計画は、令和4（2022）年度を最終年度とすることから、今後、第5次計画の策定を進めてまいります。また、精華町では令和5（2023）年度に精華町地域福祉計画の改訂を予定していることから、精華町と精華町社協の共同アンケートを実施することとなりました。

計画づくりの一環として、皆さまから地域福祉に関するお考えやご意見・ご提案をお聞かせいただくために、町内にお住まいの18歳以上の方の中から無作為で2,000名の方を選び、アンケート用紙を送らせていただきました。

調査の結果は、すべて統計的に処理され、計画を策定するための基礎資料として利用するものであり、個人情報については目的以外のことに使用することは一切ありません。アンケートの目的を理解していただき、ご協力くださいますようよろしくお願ひいたします。

令和4年8月

※回答は、無記名でお願いいたします。また、ご本人が回答することが難しい場合は、ご本人の意見を尊重して代筆していただくか、下記までご相談ください。

※次の各設問についてあてはまる番号に○を、（ ）内にあてはまる場合は、具体的にご記入をお願いします。

※アンケート用紙は同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに9月9日（金）までにポストにご投函くださいますようお願いします。

##### 【アンケート調査についての問い合わせ先】

精華町社会福祉協議会 法人運営室

〒619-0243 京都府相楽郡精華町南稻八妻砂留22-1（かしのき苑内）

TEL 0774-94-4573 FAX 0774-93-2278

E-mail:houjinunei@seikashakyo.or.jp

## 1 あなたご自身と世帯についてお聞きします

問1 あなたの性別についてお答えください。【○はひとつ】

- 1 男 性 2 女 性 3 答えたくない

問2 あなたの年齢についてお答えください。【○はひとつ】

- 1 10歳代 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代 5 50歳代  
6 60歳代 7 70歳代 8 80歳代以上

問3 あなたの精華町における居住年数についてお答えください。【○はひとつ】

- 1 5年未満 2 5~20年未満 3 20年以上

問4 あなたのお住まいの地区についてお答えください。【○はひとつ】

- |        |        |        |          |        |        |
|--------|--------|--------|----------|--------|--------|
| 1 菱田   | 2 滝ノ鼻  | 3 舟    | 4 里      | 5 僧坊   | 6 谷    |
| 7 旭    | 8 北稲八間 | 9 南稲八妻 | 10 植田    | 11 菅井  | 12 北ノ堂 |
| 13 馬渕  | 14 南   | 15 中   | 16 東     | 17 西北  | 18 山田  |
| 19 乾谷  | 20 枝編  | 21 東畑  | 22 中久保田  | 23 桜が丘 | 24 光台  |
| 25 祝園西 | 26 精華台 | 27 その他 | 28 わからない |        |        |

※狛田一丁目、狛田二丁目にお住まいの方は、3番の「舟」に○をお願いします

問5 あなたが一緒に暮らす家族の方についてお答えください。

5-1 あなたを含めて世帯に高齢者（65歳以上）の方がおられますか。【○はひとつ】

- 1 世帯に高齢者（65歳以上）がいる（あなたが65歳以上の場合を含む）【問5-2へ】  
2 いない【問6へ進む】

5-2 あなたが一緒に暮らす世帯構成についてお答えください。【○はひとつ】

- 1 ひとり暮らし（あなたのみ） 2 夫婦二人暮らしで二人とも65歳以上  
3 夫婦二人暮らしで一人は65歳以上 4 その他の世帯

問6 あなたが一緒に暮らす子どもについてお答えください。

6-1 あなたの世帯に小学生までの子どもがおられますか。【○はひとつ】

- 1 小学生までの子どもがいる【問6-2へ】 2 いない【問7へ】

6-2 世帯構成についてお答えください。【○はひとつ】

- 1 両親と子どものみ 2 母子ないしは父子のみ  
3 祖父ないしは祖母と親と子 4 その他

## 2 近所づきあいについてお聞きします

問7 あなたは自治会に加入していますか。【○はひとつ】

- 1 加入している 2 加入していない 3 以前加入していたが今は加入していない  
4 わからない

問8 あなたは隣近所とどのようなおつきあいをされていますか。【○はひとつ】

- 1 親しくおつきあいをしているお宅がある 2 自治会や隣近所の行事の時だけつきあっている  
3 道で会えばあいさつをする程度 4 近所づきあいはほとんどない 5 わからない

問9 あなたが住んでいる地域に対して、どれくらい愛着がありますか。【○はひとつ】

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1 とても愛着がある | 2 やや愛着がある |
| 3 あまり愛着がない | 4 愛着がない   |

問10 あなたが住んでいる地域の中で問題点と思うものは何ですか。【○はいくつでも】

- |                       |
|-----------------------|
| 1 隣近所との交流が少ない         |
| 2 世代間の交流が少ない          |
| 3 地域の中で気軽に集まれる場が少ない   |
| 4 地域の活動が活発ではない        |
| 5 あいさつをしない人が多い        |
| 6 地域で子供の見守りがなされていない   |
| 7 地域で孤立している世帯がある      |
| 8 買物や通院に不便を感じている      |
| 9 道ばたのゴミが増えた          |
| 10 治安が悪くなっている         |
| 11 緊急時にどうしたらよいのかわからない |
| 12 特ない                |
| 13 その他（自由記述）          |

問11 あなたは困った時に、手助けをお願いできる近所の人がいますか。【○はひとつ】

- |                  |       |         |
|------------------|-------|---------|
| 1 手助けをお願いできる人がいる | 2 いない | 3 わからない |
|------------------|-------|---------|

問12 あなたが手助けをお願いしたいことについてお答えください。【○は3つまで】

- |                |                   |                |
|----------------|-------------------|----------------|
| 1 ちょっとした家事の援助  | 2 外出の援助           | 3 高齢者の安否確認、声かけ |
| 4 家族が病気の時の援助   | 5 緊急災害時の援助        | 6 心配事の相談       |
| 7 子どもの安全確保、声かけ | 8 子どもの預かりなど子育ての応援 |                |
| 9 地域ぐるみの子育て支援  | 10 病院の送迎（付き添い含む）  |                |
| 11 その他（具体的に）   |                   | 12 手助けは必要ない    |

### 3 困ったときの相談や情報の収集についてお聞きします

問13 あなたの現在の生活状況についてお聞かせください。【○はひとつ】

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1 とても困っている  | 2 少し困っている    |
| 3 あまり困っていない | 4 まったく困っていない |

問14 問13で「1」か「2」を回答された方について、困っていることは何ですか。【〇はいくつでも】

- 1 自分や家族の健康（病気や障害など）に関すること
- 2 介護に関すること
- 3 子育てに関すること
- 4 家族間の問題に関すること
- 5 仕事に関すること
- 6 生活費など経済的問題に関すること
- 7 近所づきあいに関すること
- 8 話し相手や相談相手がないこと
- 9 外出（買い物や通院など）に関すること
- 10 家事（掃除、洗濯、食事など）に関すること
- 11 ゴミ出しに関すること
- 12 災害時の避難支援に関すること
- 13 地域の治安に関すること
- 14 その他（自由記述 )

問15 あなたは、健康や福祉に関する情報をどこから得ていますか。【〇はいくつでも】

- |                 |               |                |
|-----------------|---------------|----------------|
| 1 精華町役場の窓口      | 2 精華町の広報誌     | 3 社会福祉協議会      |
| 4 病院などの医療機関     | 5 民生児童委員など    | 6 福祉サービス事業者    |
| 7 自治会           | 8 近所の人        | 9 家族・親族        |
| 10 ケアマネジャー      | 11 地域包括支援センター | 12 障害者生活支援センター |
| 13 母子健康包括支援センター | 14 子育て支援センター  | 15 成年後見支援センター  |
| 16 インターネット      | 17 その他（具体的に ) |                |
| 18 わからない        |               |                |

問16 あなたの「生活」に関する状況を次の中から選んでください。【〇はいくつでも】

- 1 私自身、福祉サービスを必要とする
- 2 家族などが福祉サービスを現在利用している
- 3 家族などが過去に福祉サービスを利用したことがある
- 4 福祉サービスを必要としておらず、利用経験もない

問 17 新型コロナウイルスの影響によって、あなたが生活の中で不安に感じることについて、次のの中から選んでください。【○はいくつでも】

- 1 家族に関する不安
- 2 経済環境の急激な変化（例：失業、倒産、減収などによる経済的不安）
- 3 家族の縮小による不安（例：高齢者世帯、単身世帯などによる孤独感・不安感）
- 4 隣近所の人間関係で悩んでいる
- 5 適切な医療が受けられるか
- 6 感染した時の生活の維持（買い物・食事・育児・介護など普段から行っている行為）
- 7 親族や友人等との接触制限
- 8 趣味活動など外出の制限
- 9 病院・保育所・学校・介護事業所等での感染リスク
- 10 身近な情報収集の手段がない
- 11 差別や偏見
- 12 その他（具体的に：）

#### 4 地域福祉に係る活動への参加についてお聞きします

問 18 あなたは自治会をはじめとする地域団体の活動（高齢者ふれあいサロン・子育てサロン・体操教室など）にどの程度参加されていますか。

【○はひとつ】

- 1 積極的に参加している
- 2 つきあい程度には参加している
- 3 あまり参加していない
- 4 全く参加していない

問 19 あなたはボランティアなどの活動（福祉活動・子育て支援・外国人支援・被災者支援・清掃などの活動を含む）に参加されていますか。【○はひとつ】

- 1 参加している
- 2 参加したことがある
- 3 参加したことがない

#### 5 緊急災害時についてお聞きします

問 20 あなたは緊急災害時の避難場所を知っていますか。【○はひとつ】

- 1 避難場所を知っている
- 2 知らない

問 21 あなたは緊急災害時に支援が必要ですか。【○はひとつ】

- 1 支援が必要
- 2 あまり必要でない
- 3 わからない

問 22 あなたは緊急災害時に、避難の手助けをお願いできる近所の人がいますか。

【○はひとつ】

- 1 手助けをお願いできる人がいる
- 2 いない
- 3 わからない

問 23 あなたは3日分の必要物品を用意していますか。【○はひとつ】

- 1 用意している
- 2 用意していない

## 6 福祉課題や見守り・生活支援についてお聞きします

問 24 次の福祉課題や福祉制度の中で特に関心のあるものはどれですか。最大3つを選んで下のカッコ内に数字を記入してください。【3つまで】

また、それぞれの相談先について該当する方に○をつけてください。

- |            |         |           |            |
|------------|---------|-----------|------------|
| 1 高齢者介護    | 2 子育て支援 | 3 障害者生活   | 4 いじめ      |
| 5 不登校      | 6 引きこもり | 7 ヤングケアラー | 8 ダブルケア    |
| 9 生活困窮     | 10 認知症  | 11 成年後見制度 | 12 よくわからない |
| 13 その他 ( ) |         |           |            |

1つめ ( )

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1 相談先を知っている | 2 相談先を知らない |
|-------------|------------|

2つめ ( )

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1 相談先を知っている | 2 相談先を知らない |
|-------------|------------|

3つめ ( )

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1 相談先を知っている | 2 相談先を知らない |
|-------------|------------|

問 25 見守りや生活支援について、あなたのお住まいの地域の中で利用したいと思われるものはどれですか。【○はいくつでも】

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| 1 近所での話し相手         | 2 日常の相談相手     |
| 3 買物代行や買物の付き添い     | 4 子どもの預かりや見守り |
| 5 声かけや電話などによる見守り   | 6 ゴミ出し        |
| 7 家周りの簡単な手入れや荷物の運搬 | 8 病気等の緊急時の手助け |
| 9 配食や食事会           | 10 買物や通院などの送迎 |
| 11 その他 (具体的に)      |               |
| 12 支援は必要ない         | )             |

問 26 あなたは成年後見制度を知っていますか。【○はひとつ】

- |                             |
|-----------------------------|
| 1 制度の名称だけでなく、制度の内容も知っている    |
| 2 制度の名称は知っているが、制度の内容までは知らない |
| 3 知らない                      |

※成年後見制度とは、認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない方の財産管理や施設入所、入院の契約手続きなどを後見人等が法律的に支援する制度です。

※成年後見制度に関する詳しい内容は、別紙に記載するサイトで確認できます。

問27 精華町権利擁護・成年後見センターは、地域福祉センターかしのき苑内（社会福祉協議会）に開設されていますが、将来を含めてどのようなことで利用したいですか。

【○はいくつでも】

- 1 成年後見制度や詳しい内容について知りたいとき
- 2 財産管理や契約の手続きに不安を感じたとき
- 3 自分や家族が高齢になり、今後の生活に不安を感じたとき
- 4 親亡き後の子どもの将来について不安を感じたとき
- 5 その他（ ）

## 7 地域福祉の取り組みについてお聞きします

問28 地域の問題や課題の解決方法についてどのように考えていますか。【○はひとつ】

- 1 住民と行政・社協などが協力して解決すべきである
- 2 住民が解決すべきである
- 3 行政が解決すべきである
- 4 その他（ ）
- 5 わからない

問29 今後、本町はどのような施策を優先して充実すべきだと思いますか。【○は3つまで】

- 1 身近に相談できる場所づくり
- 2 住民がお互いに支え合うしくみづくり
- 3 次代を担う子どもたちの福祉教育
- 4 ボランティアやNPOなどの活動支援
- 5 高齢や障害をもっても在宅で暮らせるサービスの充実
- 6 いつまでも健康でいられるサービスの充実
- 7 サービス利用者を守る権利擁護や苦情対応などの取り組み
- 8 高齢者や障害のある人などの地域の居場所づくり
- 9 地域ぐるみの子育て支援
- 10 引きこもりの方の社会参加支援
- 11 生活困窮者への支援
- 12 その他（ ）
- 13 わからない

問30 「精華町地域福祉活動計画」について、ご意見などを自由にお書きください。

---

---

---

---

---

これで質問は全て終わりです。ご協力ありがとうございました。